



158回 景気分析と予測：詳細版

2026年5月27日

マクロ経済分析プロジェクト

- ・「景気分析と予測」は、アジア太平洋研究所のマクロ経済分析プロジェクトチームによる景気動向分析の成果としてとりまとめたものである。
- ・同プロジェクトチームは、プロジェクトリーダー、稲田義久 APIR 研究統括兼数量経済分析センター長、甲南大学名誉教授のもと、アジア太平洋研究所の会員企業から参加した若手企業人と研究所員などで構成されている。
- ・予測及び本稿の執筆者は、稲田義久及び下田充(日本アプライドリサーチ研究所主幹研究員)である。
- ・本プロジェクトは関西の若手企業人と学界との共同研究として40年の歴史を持ち、公表された予測結果は、広く利用されている。
- ・本プロジェクトは大阪大学名誉教授森口親司氏や伴金美氏の指導の下に確立されてきたが、2005年度から、超短期予測モデルとこれまでの四半期マクロ計量モデルの融合による新たな試みとして引き継がれた。
- ・また「景気分析と予測」は、経済の変化に即応するために、2004年度から原則四半期毎に年4回行っている。

目次

要旨	1
予測結果の概要	2
予測結果の詳細表	16-20
原油価格高騰シミュレーション	21
付表 主要月次統計	22-24

要旨

不確実性高まる中東情勢悪化の影響

-実質GDP成長率予測：26年度+0.5%、27年度+1.0%-

1. 5月19日発表のGDP1次速報によれば、**1-3月期の実質GDPは前期比+0.5%、同年率+2.1%と2四半期連続のプラス成長**となった。1次速報の結果は市場コンセンサス(ESPフォーキャスト5月調査：前期比年率+1.56%)から幾分上振れたが、**CQMの平均最終予測(同+2.2%)とはほぼピンポイント**となった。結果、2025年度の実質GDPは前年度比+0.8%と2年連続のプラス成長。また名目GDPは同+4.2%と5年連続のプラス成長となった(図表1)。
2. 今回注目すべきは、1-3月期は国内需要と純輸出はともにプラス寄与となったが、**交易条件が悪化したため実質GDIは前期比+0.4%と実質GDPの伸びを4四半期ぶりに下回った**。先行きも**交易条件の悪化**が予想されるので、しばらくは所得の海外流出は避けられず、**経済の下押し圧力が続こう**。
3. 日本経済をコロナ禍前のピーク(2019年7-9月期)と比較(図表2)すれば、**1-3月期の実質GDPは7四半期連続で上回り+1.7%拡大した**。うち、**民間最終消費支出の回復は依然遅れており(-0.9%)、民間資本形成の回復もたどどしい(-0.1%)**。高水準のインバウンド需要により、**サービス輸出は13四半期連続で上回ったが(+32.4%)、25年4-6月期以降停滞している**。
4. 1-3月期GDP1次速報と新たな外生変数の想定を織り込み、2026-27年度日本経済の見通しを改定した。結果、**実質GDP成長率を26年度+0.5%、27年度+1.0%と予測**。原油価格高騰の影響を反映して**26年度を前回予測から-0.4%ポイント、27年度を-0.1%ポイントいずれも下方修正した**(図表1)。
5. **実質GDP成長率の四半期パターン**を見れば、2026年4-6月期にいったんマイナス成長に転じる。以降、**26-27年度にかけては、民間最終消費支出と企業設備の民間需要を中心に潜在成長率を上回る回復が続こう**(図表17)。
6. **原油価格高騰を反映し、消費者物価コア指数のインフレ率を2026年度+2.4%、27年度+2.4%と予測する**。夏場の電気・都市ガス支援策を反映するが、輸入物価の上昇が幅広く他品目に波及する影響でインフレ率は2%を超える。また**GDPデフレーターは26年度+1.1%、27年度+2.9%**となる(図表1及び図表6)。
7. **ベースラインにおける原油価格の想定**は26年4-6月期に102ドルに高騰し、2027年1-3月期に76ドルに低下し以降落ち着く。これに比して、**ホルムズ海峡封鎖の長期化シミュレーションでは、26年4-6月期に120ドルに高騰し、予測期間は同水準で高止まると想定した**。26、27年で36ドルから59ドル程度の上昇である(図表26)。
8. **原油価格が120ドルの高水準で推移した場合のシミュレーション**によれば、**2027年度に実質GDPは-1.2兆円、-0.2%減少し、国内企業物価指数は+2.9%、コアCPIは+0.5%上昇する**(表8)。

図表 1 予測結果の概要

	今回 (2026/5/20)				前回 (2025/2/19)			
	2024	2025	2026	2027	2024	2025	2026	2027
実質国内総生産 (%)	0.5	0.8	0.5	1.0	0.5	0.7	0.9	1.3
民間需要 (寄与度)	0.4	0.8	0.6	0.8	0.4	0.9	0.8	1.1
民間最終消費支出 (%)	0.1	1.2	0.6	0.8	0.2	1.3	0.9	1.2
民間住宅 (%)	▲ 0.7	▲ 3.5	0.7	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 3.2	▲ 0.0	▲ 0.1
民間企業設備 (%)	0.8	2.4	1.6	1.8	0.8	1.5	2.2	2.6
民間在庫変動 (寄与度)	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
公的需要 (寄与度)	0.5	0.1	0.2	0.2	0.5	▲ 0.0	0.1	0.2
政府最終消費支出 (%)	2.3	0.8	0.8	0.7	2.3	0.5	0.7	0.7
公的固定資本形成	0.1	▲ 0.6	1.5	1.1	0.1	▲ 1.9	▲ 0.8	1.2
公的在庫変動 (寄与度)	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0
外需 (寄与度)	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0
財貨サービスの輸出 (%)	2.7	1.9	▲ 0.3	2.1	1.6	2.1	1.3	2.4
財貨サービスの輸入 (%)	4.0	2.6	1.2	2.3	3.2	2.9	1.7	2.4
名目国内総生産 (%)	3.7	4.2	1.7	3.9	3.7	3.9	2.7	3.1
国内総生産デフレータ (%)	3.2	3.4	1.1	2.9	3.2	3.2	1.8	1.8
国内企業物価指数 (%)	3.4	2.7	8.0	1.7	3.4	2.7	1.9	1.1
消費者物価コア指数 (%)	2.6	2.8	2.4	2.4	2.6	2.8	1.8	1.9
鉱工業生産指数 (%)	▲ 1.5	▲ 0.2	0.4	1.1	▲ 1.4	0.9	0.9	1.3
住宅着工戸数：新設住宅 (%)	2.0	▲ 12.9	4.3	0.8	2.0	▲ 12.2	6.5	1.8
完全失業率 (%)	2.5	2.6	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5
経常収支 (兆円)	30.0	34.5	17.2	20.4	29.5	31.5	32.3	32.3
対名目GDP比 (%)	4.7	5.2	2.5	2.9	4.6	4.7	4.7	4.6
原油価格 (ドル/バレル)	76.9	68.4	88.0	75.5	76.9	64.7	63.5	63.0
為替レート (円/ドル)	152.5	150.7	156.5	151.5	152.5	150.5	154.2	150.5
米国実質国内総生産 (%、暦年)	2.8	2.1	2.3	2.1	2.9	2.8	1.9	2.0

注：前年度比伸び率(%)。民間需要、公的需要、民間在庫変動、公的在庫変動、外需は寄与度ベース(%ポイント)。

原油価格は WTI、ドバイ、北海ブレント原油価格の平均値。その他は注記。シャドーは実績値。

なお、前回は 2025 年 10-12 月期 GDP2 次速報を反映した予測である。

出所：筆者作成

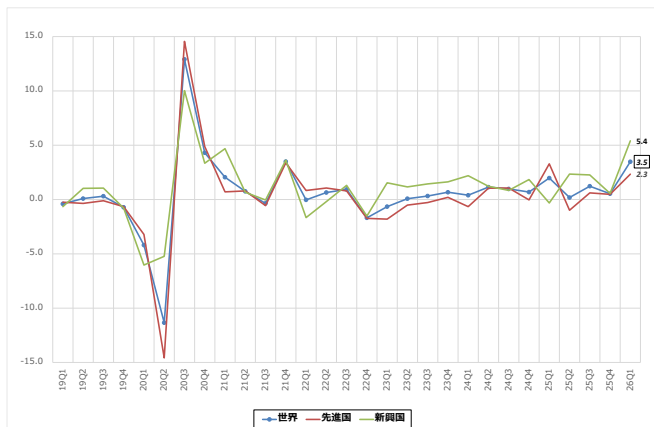
景気の現況

【世界経済の現況と見通し】

オランダ経済分析局(CPB)の World Trade Monitor によれば、2026 年 3 月の世界貿易(数量ベース:2021 年=100)は前月比-2.1%と 5 カ月ぶりに低下した(前月:同+1.5%)が、1-3 月期は前期比+3.5%へと加速した。2025 年は 1-3 月期の駆け込み需要(同+2.0%)以降、4-6 月期(同+0.2%)、7-9 月期(同+1.2%)、10-12 月期(同+0.5%)と低迷が続いた。

1-3 月期を地域別にみれば、先進国は前期比+2.3%と 3 四半期連続の上昇となった(10-12 月期:同+0.5%)、新興国は同+5.4%と 4 四半期連続の上昇となった(10-12 月期:同+0.6%)。1-3 月期は新興国のうち特に中国の伸び(+14.6%)が突出している。25 年後半から 26 年にかけて米国の関税政策変更の影響が落ち着いてきたことに加え、中国の貿易急拡大が影響している(図表 2)。

図表 2 世界貿易の変化:前期比:%

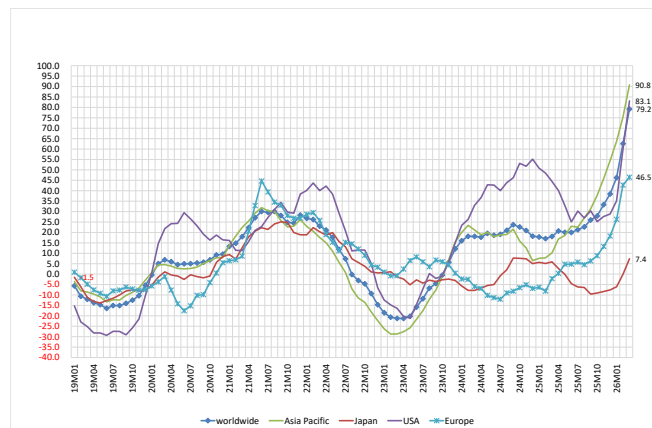


出所: CPB World Trade Monitor, March 2026

世界半導体市場統計によれば、2026 年 3 月の世界半導体売上高(3 カ月移動平均)は前年同月比+79.2%と 29 カ月連続のプラス(前月:同+62.6%)で、また 28 カ月連続で二桁の伸びを記録している。世界の半導体売上は AI 関連需要の拡大もあり、しばらくは堅調な伸びが期待で

きよう。地域別にみれば、3 月の米国売上高は同+83.1%と 29 カ月連続のプラス。急拡大が続いている。アジアは同+90.8%と 29 カ月連続のプラスで、13 カ月連続の二桁の伸びとなった。1-3 月期アジアの貿易好調の背景には半導体輸出の急増がある。また日本は同+7.4%と 9 カ月ぶりの増加に転じた。一方、ヨーロッパは同+46.5%と 12 カ月連続の増加となった(図表 3)。

図表 3 世界半導体売上高:3 カ月移動平均:前年同月比:%



出所: World Semiconductor Trade Statistics, March 2026

内閣府によれば、日本の 1-3 月期の機械受注(外需)は前期比+31.0%と 3 四半期連続で増加した。3 月末の調査によれば、4-6 月期(見通し)は同-8.1%と 4 四半期ぶりの減少が見込まれているが、前期からの反動減の性格もあり海外資本財市場の先行きは堅調な動きといえよう。

4 月 16 日に IMF は World Economic Outlook, 2026 April(以下、WEO)を発表した。昨年来世界経済は一連のショックにさらされてきたが、今回の 4 月予測では、最近のショックとして、2 月 28 日に始まったイスラエルと米国のイラン攻撃(中東情勢の悪化)の影響を取り上げている。

このショックからくる影響としては、1)直接的なもの(原油を中心とする商品価格の高騰)と 2)間接的なもの(インフレ予想や金融市場のリスク回避からくるセンチメント悪化)の 2 つがある。ただし、その影響は世界一様ではない。また世界経済への影響の程度は、ショックの

(1)期間、(2)強度、(3)広がり依存するが、これらは本質的に予測不能である。

IMF によれば、紛争勃発前におこなった予測(Pre-conflict forecast)は安定的な成長パターンを示していた。世界 GDP の成長率は 2026 年 3.4%、27 年 3.2%であった。26 年 1 月予測からは、26 年が+0.1%ポイント上方修正、27 年が据え置きとなっている。これに対して、今回 4 月に行った基準予測(reference forecast)では戦争の早期終息を想定し、このため世界 GDP 成長率は幾分減速するというものであった。すなわち、26 年は 3.1%、27 年は 3.2%と、1 月予測に比して小幅の減速ないし据え置きとなっている(図表 4)。

図表 4 IMF 予測の変化：

世界 GDP と世界貿易(暦年ベース)：前年比：%

World GDP	2025	2026	2027
April 2026 (Pre-conflict)	3.4	3.1 (3.4)	3.2 (3.2)
January 2026	3.3	3.3	3.2
October 2025	3.2	3.1	
July 2025	3.0	3.1	
April 2025	2.8	3.0	
January 2025	3.3	3.3	

World Trade Vol	2025	2026	2027
April 2026	5.1	2.8	3.8
January 2026	4.1	2.6	3.1
October 2025	3.6	2.3	
July 2025	2.6	1.9	
April 2025	1.7	2.5	
January 2025	3.2	3.3	

出所：IMF, World Economic Outlook, various issues

一方、基準予測における世界貿易の成長率は 2025 年 +5.1%から 20 年に+2.8%と減速するが、27 年は +3.8%へと加速する(図表 4)。26 年 1 月予測に比して、25 年は+1.0%ポイント、26 年は+0.2%ポイント、27 年は

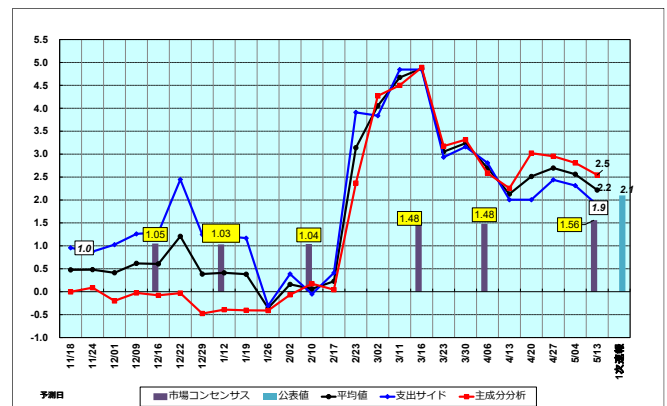
+0.7%ポイントと、それぞれ上方修正されている。4 月予測の世界 GDP 成長率が 1 月予測から下方修正ないし据え置きにとどまっているのに対して、世界貿易の成長率はいずれも上方修正されていることには注意が必要である。この背景には、前倒し需要の高まり、関税率の緩和、貿易連鎖や生産チェーン進展の影響がある。

IMF はグローバルインバランスの改善は緩やかであるが、対米直接投資は進む。米国の生産性向上はデジタル・サービスの競争力を高め、貿易収支は改善するとみている。

【1-3 月期実質 GDP：予測のパフォーマンス】

5 月 19 日内閣府発表の GDP1 次速報によれば、1-3 月期の実質 GDP は前期比+0.5%、同年率+2.1%と 2 四半期連続のプラス成長となった(10-12 月期：前期比年率+0.8%)。1 次速報の結果は市場コンセンサス(ESP フォーキャスト 5 月調査：前期比年率+1.56%)から幾分上振れたが、CQM の平均最終予測(同+2.2%)とはほぼピンポイントとなった。CQM 最終予測のうち、支出サイドは同+1.9%、生産サイドは同+2.5%である。

図表 5 1-3 月期超短期予測の動態：実質 GDP 成長率：前期比年率、%



出所：筆者作成

図表 6 は 1-3 月期の CQM(支出サイド)の予測パフォーマンスを GDP 項目別に見たものである。国内需要のうち、民間在庫変動は CQM 予測(前期比+0.1%ポイント)が実績(同-0.1%ポイント)より+0.2%ポイント上振れた。一

方、財貨・サービスの純輸出は、輸入が過大予測(実績：同+0.5%→CQM 予測：同+1.7%)となったため、実績から-0.3%ポイント下振れた。1-3 月期は、主に民間在庫変動の過大予測と財貨・サービスの純輸出の過小予測が相殺した。また他の項目は概ね良好な予測となった。

図表 6 1-3 月期超短期予測と実績：前期比、%

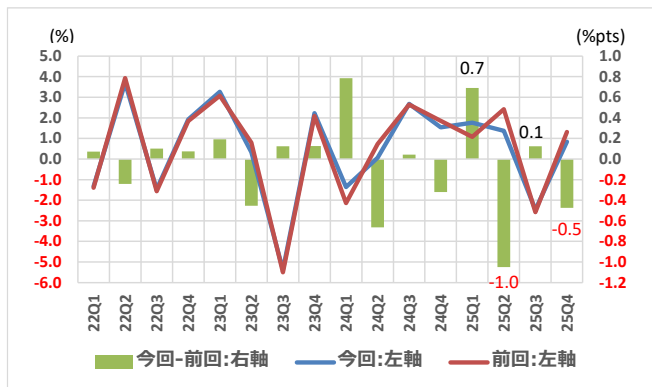
	CQM	1次速報	コンセンサス
国内総生産/国内総支出	0.5	0.5	0.38
前期比年率	1.9	2.1	1.56
民間最終消費支出	0.2	0.3	0.16
民間住宅	1.3	0.5	
民間企業設備	0.7	0.3	0.12
民間在庫変動(*)	0.1	-0.1	
政府最終消費支出	0.2	0.1	
公的固定資本形成	1.6	1.4	
公的在庫変動(*)	0.0	0.0	
純輸出(*)	-0.0	0.3	
財貨・サービスの輸出	1.3	1.7	1.06
財貨・サービスの輸入	1.7	0.5	0.50
GDPデフレーター	0.4	0.3	
国内需要	0.5	0.2	
民間需要	0.5	0.2	

*印は寄与度

出所：筆者作成

1 次速報と同時に季節調整の掛け直しや基礎統計の改定により、過去値が遡及改定される。過去 1 年の実質 GDP 成長率を前回と比較すると、2025 年 1-3 月期+0.7%ポイント、4-6 月期-1.0%ポイント、7-9 月期+0.1%ポイント、10-12 月期-0.5%ポイント修正された(図表 7)。

図表 7 実質 GDP 成長率の改定：前期比年率、%



出所：内閣府『四半期 GDP 速報 2026 年 1-3 月期 1 次速報値』より筆者作成

【1-3 月期 GDP の要約】

1-3 月期の実質 GDP 成長率(前期比+0.5%)への寄与度を見ると、国内需要は同+0.2%ポイントと 2 四半期連続のプラス寄与となった。

うち、民間需要は前期比+0.2%ポイントと 2 四半期連続のプラス寄与となった。民間最終消費支出(同+0.1%ポイント)、民間住宅(+0.0%ポイント)、民間企業設備(+0.1%ポイント)がプラス寄与だが、民間在庫変動(-0.1%ポイント)のマイナス寄与。公的需要は同+0.1%ポイントと 2 四半期連続のプラス寄与となった。

また、純輸出も前期比+0.3%ポイントと 2 四半期連続のプラス寄与となった。

図表 8 実質 GDP/GDI 成長率と寄与度：前期比：%

	GDP年率	GDP	国内需要	民間需要	民間在庫変動	公的需要	公的在庫変動	純輸出	GDI
22Q1	-1.3	-0.3	-0.3	-0.1	0.1	-0.2	0.0	-0.1	-0.8
22Q2	3.7	0.9	1.1	0.9	-0.2	0.1	0.0	-0.1	0.2
22Q3	-1.5	-0.4	0.2	0.4	0.1	-0.2	-0.1	-0.6	-0.9
22Q4	1.9	0.5	0.3	0.0	-0.1	0.3	0.1	0.2	0.8
23Q1	3.3	0.8	0.7	0.4	-0.2	0.2	0.0	0.2	1.2
23Q2	0.3	0.1	-1.1	-0.7	0.0	-0.4	-0.1	1.2	0.9
23Q3	-5.4	-1.4	-1.3	-1.2	-0.7	-0.1	0.0	0.0	-1.1
23Q4	2.2	0.6	0.7	0.7	0.3	0.0	0.0	-0.1	0.4
24Q1	-1.4	-0.3	-0.5	-0.5	0.0	0.0	0.0	0.2	-0.4
24Q2	0.1	0.0	0.5	0.0	-0.1	0.5	0.0	-0.5	0.4
24Q3	2.7	0.7	0.9	0.8	0.3	0.1	0.0	-0.2	0.8
24Q4	1.5	0.4	-0.4	-0.4	-0.3	0.0	0.0	0.8	0.4
25Q1	1.8	0.4	1.1	1.1	0.7	0.0	0.0	-0.6	0.2
25Q2	1.4	0.3	0.2	0.1	-0.2	0.1	0.0	0.1	0.9
25Q3	-2.5	-0.6	-0.3	-0.3	-0.2	0.0	0.0	-0.3	-0.4
25Q4	0.8	0.2	0.2	0.1	-0.4	0.1	0.0	0.0	0.3
26Q1	2.1	0.5	0.2	0.2	-0.1	0.1	0.0	0.3	0.4

出所：内閣府『四半期 GDP 速報 2026 年 1-3 月期 1 次速報値』より筆者作成

結果、2025 年度の実質 GDP は前年度比+0.8%と 2 年連続のプラス成長となった(前年度：同+0.5%)。また名目 GDP は同+4.2%と 5 年連続のプラス成長となった(前年度：同+3.7%)。

今回注目すべきは、1-3 月期は国内需要と純輸出はともにプラス寄与となったが、交易条件が悪化したため実質 GDI は前期比+0.4%と実質 GDP の伸びを 4 四半期ぶりに下回った。先行きも交易条件の悪化が予想されるので所得の海外流出は避けられず、経済の下押し圧力が続こう(図表 8)。

【1-3 月期 GDP 項目の動向】

1-3 月期 GDP 項目の動向をみよう(図表 9)。

名目雇用者報酬は前期比+0.6%と 15 四半期連続のプラス(10-12 月期：同+1.1%)、実質雇用者報酬(家計最終消費デフレーター(除く持ち家の帰属家賃及びFISM)で実質化)は同+0.2%と 4 四半期連続のプラス(10-12 月期：同+0.5%)となった。結果、民間最終消費支出は前期比+0.3%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 5 四半期連続の増加となった(10-12 月期：同+0.0%)。

国内家計最終消費支出(前期比+0.2%、寄与度+0.1%ポイント)を形態別にみると、外食や旅行等の実質サービス支出は同+0.2%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 5 四半期連続で増加した。食料などの非耐久財は同+0.4%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 5 四半期ぶりに増加。また衣料品等の実質半耐久財も同+0.9%(寄与度：同+0.0%ポイント)と 3 四半期連続で増加した。一方、実質耐久財は同-1.4%(寄与度：同-0.1%ポイント)と 2 四半期ぶりに減少した。

固定資本形成のうち、実質民間住宅は前期比+0.5%(寄与度：同+0.0%ポイント)と 2 四半期連続の増加となった(10-12 月期：同+5.0%)。

実質民間企業設備は前期比+0.3%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 2 四半期連続増加となった。企業の設備投資計画は堅調で収益も高水準であることから均してみれば増勢基調が続いている。

実質民間在庫変動の実質 GDP 成長率への寄与度は前期比-0.1%ポイント、4 四半期連続のマイナスとなった。

実質公的需要は前期比+0.3%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 2 四半期連続で増加した。うち、実質政府最終消費支出は同+0.1%(寄与度：同+0.0%ポイント)と 4 四半期連続で増加。実質公的固定資本形成は同+1.4%(寄与度：同+0.1%ポイント)と 3 四半期ぶりの増加となった。

財貨・サービスの実質輸出は前期比+1.7%(寄与度：同+0.4%ポイント)と 2 四半期連続の増加となった。財貨

の輸出は同+2.2%(寄与度：同+0.4%ポイント)と 3 四半期ぶりに増加した(前期：同-0.5%)。また、サービス輸出(含む非居住者家計の国内での直接購入)も同+0.4%(寄与度：同+0.0%ポイント)と 2 四半期連続のプラス。うち、インバウンド需要である非居住者家計の国内での直接購入は同-1.6%(寄与度：同+0.0%ポイント)と 2 四半期ぶりで減少した。

一方、財貨・サービスの実質輸入は前期比+0.5%(寄与度：同-0.1%ポイント)と 3 四半期ぶりに増加した。うち、財貨の輸入は同+0.4%(寄与度：同-0.1%ポイント)と 3 四半期ぶりの増加。サービス輸入(含む居住者家計の海外での直接購入)は同+0.8%(寄与度：同-0.0%ポイント)と 3 四半期連続の増加となった。

図表 9 実質 GDP 項目の成長率：前期比：%

	GDP年率	GDP	民間最終消費支出	民間住宅	民間企業設備	政府最終消費支出	公的固定資本形成	輸出	輸入
22Q2	3.7	0.9	1.5	-0.4	2.1	1.0	-2.0	0.8	1.5
22Q3	-1.5	-0.4	0.0	1.3	1.1	-0.6	0.4	1.8	4.8
22Q4	1.9	0.5	0.3	-0.3	-0.1	0.9	1.1	0.8	-0.2
23Q1	3.3	0.8	0.6	0.5	1.4	0.2	4.0	-1.1	-1.7
23Q2	0.3	0.1	-1.0	2.9	-1.6	-1.4	-1.2	1.5	-3.6
23Q3	-5.4	-1.4	-0.7	-1.6	-0.4	0.1	-2.1	1.4	1.4
23Q4	2.2	0.6	0.0	-0.2	2.3	0.0	-0.5	2.5	2.8
24Q1	-1.4	-0.3	-0.2	-1.3	-2.1	0.4	-1.5	-2.9	-3.4
24Q2	0.1	0.0	-0.1	-0.4	0.9	2.0	1.2	0.8	2.9
24Q3	2.7	0.7	0.5	1.3	0.8	0.0	1.3	2.4	3.2
24Q4	1.5	0.4	0.0	0.7	-0.6	0.0	-0.3	1.6	-1.9
25Q1	1.8	0.4	0.7	-0.5	0.7	-0.2	-0.8	-0.6	2.2
25Q2	1.4	0.3	0.2	0.0	1.2	0.7	0.4	1.6	1.1
25Q3	-2.5	-0.6	0.5	-1.1	-0.1	0.1	-1.1	-1.6	-0.2
25Q4	0.8	0.2	0.0	5.0	1.4	0.4	-0.2	0.2	0.0
26Q1	2.1	0.5	0.3	0.5	0.3	0.1	1.4	1.7	0.5

出所：内閣府『四半期 GDP 速報 2026 年 1-3 月期 1 次速報値』より筆者作成

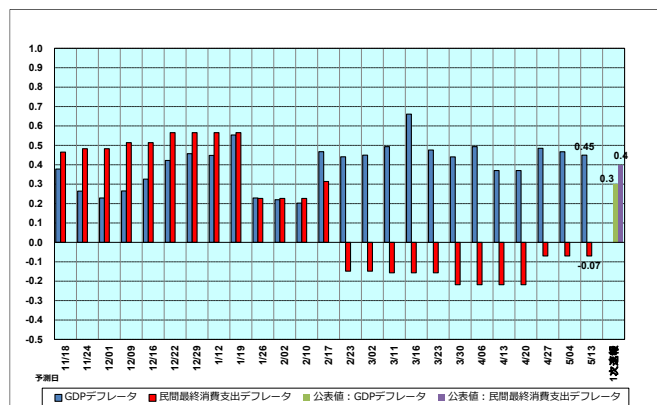
デフレーターを見ると、国内需要デフレーターは前期比+0.5%(CQM 最終予測：同+0.3%)と 8 四半期連続のプラス(10-12 月期：同+0.6%)。うち、民間最終消費支出デフレーターは同+0.4%(CQM 最終予測：同-0.1%)と 21 四半期連続で上昇した(10-12 月期：同+0.5%)。民間住宅デフレーターは同+1.4%と 8 四半期連続の上昇(10-12 月期：同+0.5%)。民間企業設備デフレーターは同+1.0%と 21 四半期連続の上昇となった(10-12 月期：同+1.0%)。

外需デフレーターでは、財貨・サービスの輸出デフレーターが同+2.5%(CQM 最終予測：同+5.5%)と 3 四半期

連続の上昇(10-12 月期：同+3.6%)、輸入デフレーターも同+3.4%(CQM 最終予測：同+4.7%)と 3 四半期連続で上昇した(10-12 月期：同+3.0%)。交易条件は 4 四半期ぶりに悪化した結果、GDP デフレーターは同+0.3%(CQM 最終予測：同+0.5%)と 8 四半期連続の上昇となったが、前期(同+0.7%)から減速した。

このため、1-3 月期の名目 GDP は前期比+0.8%、同年率+3.4%と 8 四半期連続の増加となった(10-12 月期：同+3.8%)。

図表 10 1-3 月期超短期予測の動態：インフレ率：前期比、%



出所：筆者作成

【1-3 月期：民間需要は依然コロナ禍前のピークを下回る】

1-3 月期の実質 GDP(593.7 兆円)は 2 四半期連続のプラス成長となった。このため、コロナ禍前のピーク(2019 年 7-9 月期：584.0 兆円)を 7 四半期連続で上回り+1.7%拡大した。ただ物価上昇の影響もあり名目 GDP(677.2 兆円)は 17 四半期連続でコロナ禍前のピーク(575.4 兆円)を上回り+17.7%拡大した。

GDP 構成各項目の回復状況を見ると、足下、民間最終消費支出(-0.9%)の回復は依然遅れている。2025 年 1-3 月期、4-6 月期の民間資本形成は、民間住宅の駆け込み需要の影響もありコロナ前のピークを初めて上回ったが、7-9 月期以降 3 四半期連続で再び下回った(-

0.1%)。民間需要は依然コロナ禍前のピークを下回っている。高水準のインバウンド需要により、サービス輸出はコロナ禍前のピークを 13 四半期連続で上回った(+32.4%)。一方、GDP 控除項目であるサービス輸入(+34.7%)も 15 四半期連続で上回った。

図表 11 実質 GDP の推移：2019 年 7-9 月期=100

	国内総生産	財貨輸入	サービス輸入	民間最終消費支出	民間資本形成	政府支出	財貨輸出	サービス輸出	名目国内総生産
19Q3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
22Q1	99.0	102.0	93.3	96.6	98.1	104.0	107.6	79.4	100.9
22Q2	99.9	104.1	92.9	98.1	98.7	104.5	107.1	84.5	101.4
22Q3	99.5	105.5	109.5	98.1	100.3	103.9	108.1	89.5	101.1
22Q4	100.0	106.7	104.8	98.4	99.6	105.1	108.0	94.1	103.2
23Q1	100.8	103.3	109.5	99.0	100.2	106.0	104.3	102.1	105.3
23Q2	100.9	98.8	108.9	98.0	99.5	104.5	105.1	106.5	107.3
23Q3	99.5	98.5	117.5	97.4	96.4	104.1	105.1	112.9	107.2
23Q4	100.1	102.7	115.3	97.3	99.3	104.0	105.6	123.6	108.4
24Q1	99.7	97.2	118.6	97.1	97.5	104.0	103.1	117.9	107.7
24Q2	99.7	99.3	124.8	97.1	97.6	106.0	102.2	125.5	109.9
24Q3	100.4	103.1	126.4	97.6	99.8	106.3	105.2	126.3	111.2
24Q4	100.8	100.5	126.5	97.5	98.3	106.2	105.7	132.8	112.4
25Q1	101.2	102.7	129.7	98.2	101.4	106.0	105.6	130.2	113.3
25Q2	101.6	104.2	129.7	98.3	101.6	106.5	107.1	133.4	115.6
25Q3	100.9	103.5	131.2	98.8	99.3	106.4	106.0	128.8	115.7
25Q4	101.1	102.8	133.7	98.9	99.8	106.7	105.5	131.9	116.7
26Q1	101.7	103.2	134.7	99.1	99.9	107.0	107.8	132.4	117.7

出所：内閣府『四半期 GDP 速報 2026 年 1-3 月期 1 次速報値』より筆者作成

予測の概要

標準予測：2026-27 年度

(1) 外生変数の想定

国内の政策(外生変数)の想定についてみよう。2026 年 1-3 月期の実質政府最終消費支出は前期比+0.1%と 4 四半期連続の増加となった(10-12 月期：同+0.4%)。足下の動きを反映し、実質政府消費支出の伸びを、2026 年度+0.8%(前回：+0.7%)、27 年度+0.7%(前回：+0.7%)と想定した。前回予測から、26 年度を小幅上方修正した。

2026 年 1-3 月期の実質公的固定資本形成は前期比+1.4%と 3 四半期ぶりの増加となった(10-12 月期：同-0.2%)。国土交通省の建設総合統計(出来高ベース)によれば、1-3 月期の公共工事は前期比+3.5%と 3 四半期ぶりの増加(10-12 月期：前期比-0.6%)。足下の動

向を反映し、実質公的固定資本形成の伸びを、2026年度+1.5%(前回:-0.8%)、27年度+1.1%(前回:+1.2%)と想定。26年度を前回予測から上方修正した。

海外環境(外生変数)のうち、重要なのは原油価格、世界貿易、為替レートの想定である(図表12)。**世界原油価格**(WTI、ドバイ、北海ブレントの平均価格)は、今回予測において、2026年4-6月期102.00ドルと前期の77.84ドル(実績)から31.0%上昇するが、7-9月期に92.0ドル、10-12月期82.0ドル、27年1-3月期75.96ドルへと減速し、28年1-3月期に74.24ドルとほぼ横ばいを見込む。世界原油価格の推移については、22年のロシアのウクライナ侵攻時のパターンを参考にした。年平均では、25年度の68.68ドルから、26年度87.99ドル、27年度75.53ドルと想定。前回から、26年度+24.5ドル、27年+12.5ドル上方修正した。

実質世界貿易の先行きについては、IMFのWorld Economic Outlook, April 2026の見方を参考にした。実質世界貿易の伸びを2026年+2.8%、27年+3.8%とし、前回から+0.2%ポイント、+0.7%ポイント上方修正した。

FRB(連邦準備制度理事会)は2026年4月FOMCにおいて政策金利を3会議連続で政策金利を据え置き、3.50-3.75%のレンジとした。先行きについては、予測期間内で、26年1回、27年1回程度の利下げを想定する。一方、日銀は政策金利を25年1月24日に0.50%程度とした後、トランプ関税の影響により経済の先行きを「非常に不確実」とし政策金利を据え置いたが、12月19日に政策金利を0.75%程度に決定した。今後の利上げは26年6月と27年3月と想定する。**為替レート**は25年4-6月期以降円安が再び加速したが、日米の金融政策スタンスからみて、27年に向けて徐々に円高に向かうと想定する。このため、を、2026年度156.5円、27年度151.5円と想定した。水準については、前回から、26年度2.3円、27年度1円程度、それぞれ円安修正した。

図表12 外生変数の想定

項目	2025	2026	2027
世界原油価格(\$/bbl)	68.38	87.99	75.53
前回	64.71	63.50	63.00
実質世界貿易(前年比:%)	5.1	2.8	3.8
前回	4.1	2.6	3.1
為替レート(¥/\$)	150.7	156.5	151.5
前回	150.5	154.2	150.5

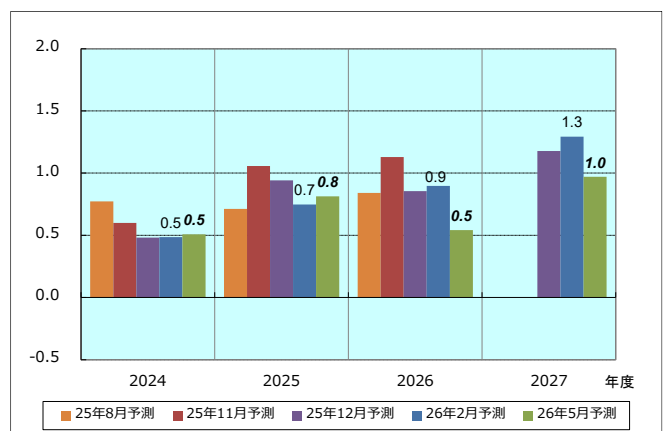
出所:筆者作成

(2) 予測結果:実質GDP成長率は、26年度+0.5%、27年度+1.0%

2026年1-3月期のGDP1次速報を追加し、外生変数(財政金融政策及び海外経済関連の変数)の新たな想定を織り込み、25-27年度の日本経済見通しを改定した。今回、実質GDP成長率を、26年度+0.5%、27年度+1.0%。暦年ベースでは、26年+0.6%、27年+0.8%と予測した。

図表13と14は、実質GDP成長率と消費者物価コア指数インフレーションの推移及び予測動態をみたものである。実質GDP成長率予測を前回(第157回予測)と比較すると、26年度-0.4%ポイント、27年度-0.3%ポイント、いずれも下方修正した。原油価格高騰による物価上昇や所得流出を反映し、民間需要及び純輸出を下方修正した。

図表13 実質GDP成長率予測の推移:%

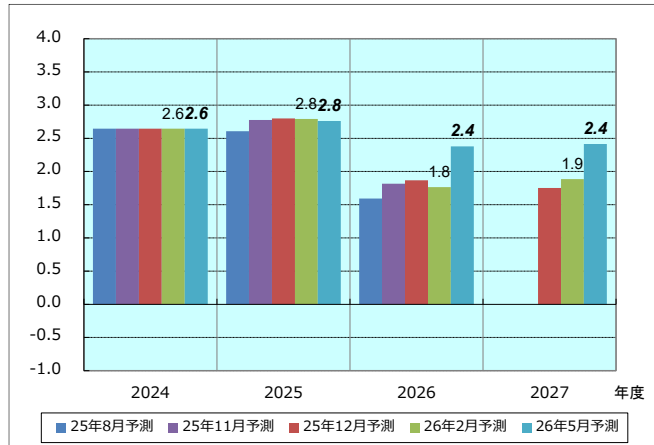


出所:筆者作成

消費者物価コア指数インフレーションを、2026年度

+2.4%(前回:+1.8%)、27年度+2.4%(前回:+1.9%)と予測した。原油価格高騰による輸入物価上昇が幅広い品目への波及を反映し、前回から26年度を+0.6%ポイント、27年度を+0.5%ポイント、いずれも上方修正した。

図表 14 コア CPI インフレーション予測の推移：%

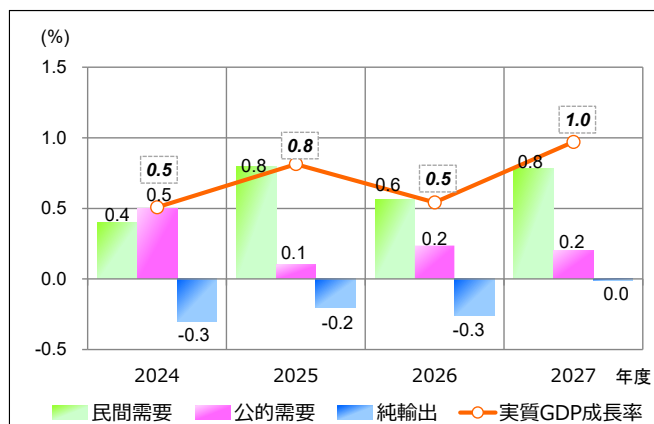


出所：筆者作成

(3) 予測のポイント：中東情勢悪化を織り込み成長パスを下方修正

実質 GDP 成長率(予測)への寄与度を主要項目別にみると、2026年度は民間需要+0.6%ポイント、公的需要+0.2%ポイント、純輸出-0.3%ポイント、27年度は民間需要+0.8%ポイント、公的需要+0.2%ポイント、純輸出+0.0%ポイントとなる(図表 15)。

図表 15 実質 GDP 成長率と項目寄与度：%

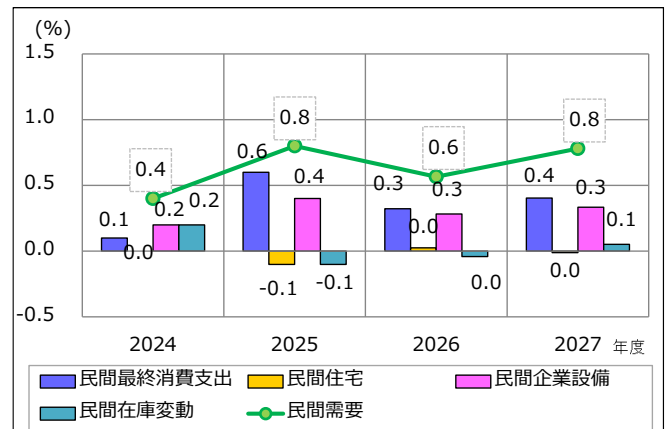


注：各項目の修正幅の合計は、四捨五入の関係で必ずしも GDP 成長率の修正幅に一致しない。

出所：筆者作成

前回予測からの修正幅を見れば、26年度は民間需要を-0.2%ポイント、純輸出を-0.2%ポイント、それぞれ下方修正した。一方、公的需要を+0.1%ポイント上方修正した。27年度は民間需要を-0.3%ポイント、純輸出を-0.0%ポイント、いずれも下方修正した。

図表 16 民間需要の項目別寄与度：%

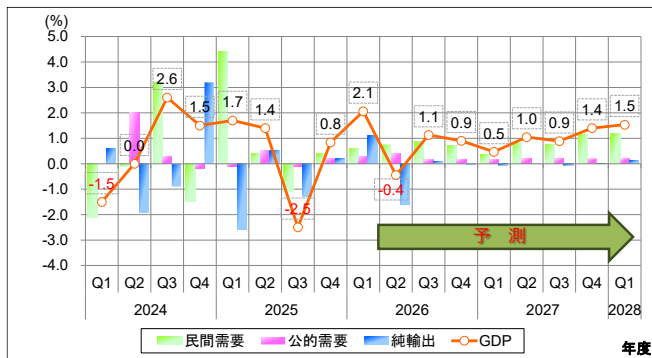


出所：筆者作成

民間需要の項目別寄与度をみると、2026年度は、実質民間最終消費支出+0.3%ポイント、実質民間住宅+0.0%ポイント、実質民間企業設備+0.3%ポイント、実質民間在庫変動-0.0%ポイントと民間在庫変動を除くすべての項目がプラス寄与となる。27年度は、実質民間最終消費支出+0.4%ポイント、実質民間住宅-0.0%ポイント、実質民間企業設備+0.3%ポイント、実質民間在庫変動+0.1%ポイントと民間住宅を除くすべての項目がプラス寄与となる(図表 16)。

実質 GDP(実績及び予測)を四半期ベースで見れば、2026年4-6月期に一旦マイナス成長に転じる。26年の春闘賃上げは前年に準ずる伸びとなり、一方で消費者物価インフレが減速することで、前半の実質賃金は緩やかに拡大する。ただ後半から27年に向け消費者物価上昇率加速により実質賃金は一旦減少する。27年度には民間需要の寄与が拡大し、結果、潜在成長率を幾分上回る成長が続く。ただ純輸出については26年度も景気下押しリスクが高く、26-27年度は主に内需を中心とした回復となる(図表 17)。

図表 17 実質 GDP 成長率と項目別寄与度：年率：%



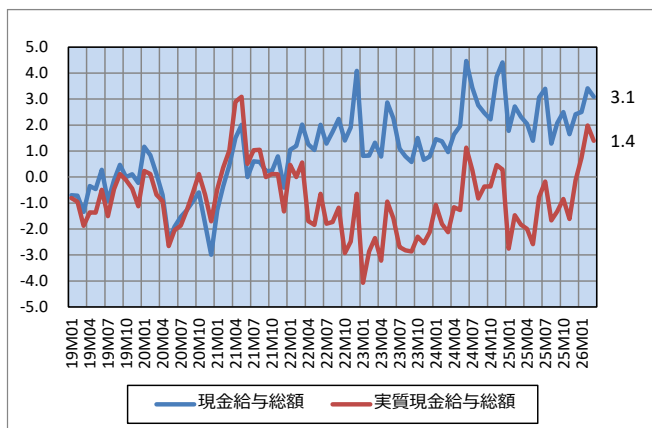
出所：筆者作成

(4) 家計部門：実質賃金のプラス反転は一旦頓挫し、民間最終消費の回復は後ずれ

家計消費支出の需要サイド指標である総務省の実質総消費動向指数(季節調整値：2020年=100)は、3月に前月比0.0%と2カ月連続の横ばいとなった。結果、1-3月期は前期比+0.1%と小幅ながら8四半期連続の上昇となった(10-12月期：前期比+0.0%)。

厚生労働省の毎月勤労統計調査(確報、調査産業計、事業所規模5人以上)によれば、3月の現金給与総額は前年同月比+3.1%と51カ月連続の増加。消費者物価指数(除く持ち家の帰属家賃)で除した実質現金給与総額は同+1.4%と3カ月連続の増加となった(図表18)。

図表 18 現金給与総額の伸び：前年同月比：%



出所：厚生労働省『毎月勤労統計調査』

1-3月期の現金給与総額は前年同期比+3.0%と20四半期連続の増加。また実質現金給与総額は同+1.3%

と5四半期ぶりの増加となった。

2026年度前半は消費者物価上昇率が減速するが後半は加速するため、実質賃金は27年に入り一旦減少に転じる。民間消費の回復は後ずれるとみる。今回、民間最終消費支出は26年度前年比+0.6%(前回:+0.8%)、27年度+0.8%(前回:+1.1%)と予測。実質賃金回復の遅れから、26-27年度を前回予測から下方修正した。

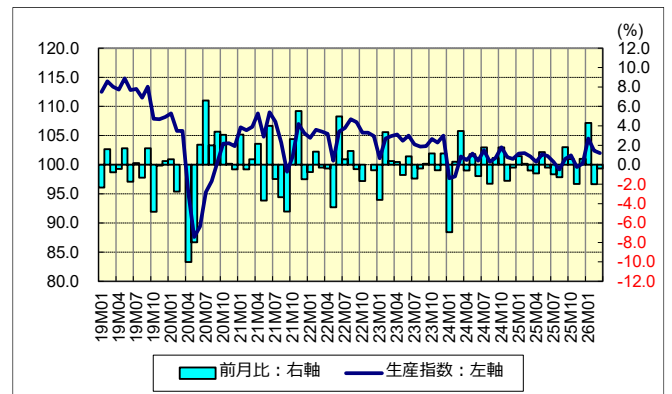
国土交通省によれば、GDPベースの民間住宅投資をよく説明する建築工事費予定額(居住用+0.7*居住産業併用)は、3月に前月比+4.4%と3カ月ぶりの増加となった。結果、1-3月期は前期比+1.4%と3四半期連続で増加した(10-12月期：前期比+7.2%)。

所得環境の大きな改善は望めず、2026年度の実質民間住宅は前年度比-0.0%(前回:+0.8%)、27年度-0.1%(前回:+0.6%)と低迷を予測。26-27年度を前回予測から下方修正した。

(5) 企業部門：リスク回避センチメントの高まりが設備投資回復に影

経済産業省の鉱工業指数の動向(確報)によれば、3月の鉱工業生産指数(季調済み：2020=100)は前月比-0.4%と2カ月連続の低下(図表19)。1-3月期は前期比+2.5%と2四半期連続で上昇した。結果、2025年度は-0.2%と4年連続の低下となった。経産省は3月の基調判断を生産は「一進一退」と前月から据え置いた。

図表 19 鉱工業生産指数(2020=100)：前月比：%

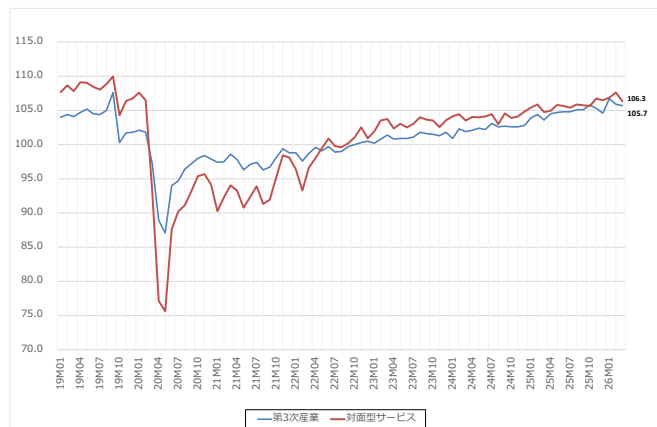


出所：経済産業省『鉱工業指数』

2026 年度の鉱工業生産指数を前年度比+0.4%(前回: +0.9%)、27 年度+1.1%(前回: +1.3%)と予測している。中東情勢悪化による供給制約を反映し、26-27 年度の実績を前回から下方修正した。

経済産業省によれば、3 月の第 3 次産業活動指数(季調済み: 2019-20 年平均=100)は前月比-0.2%と 2 カ月連続の低下。結果、1-3 月期は前期比+0.9%と 5 四半期連続で上昇した(10-12 月期: 前期比+0.2%)。経産省は 3 月の基調判断を前月の「一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き」から据置いた(図表 20)。

図表 20 対面型サービス指数 vs. 第 3 次産業活動指数 (2019-20=100): 前月比: %

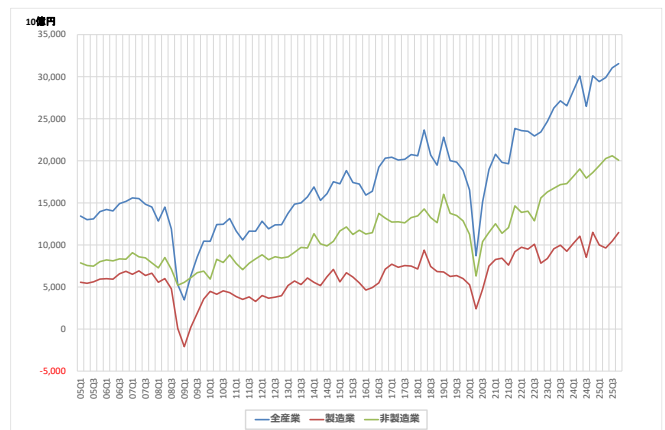


出所: 経済産業省『第 3 次産業活動指数』より筆者作成

注: 対面型サービス業指数は、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、学習支援業及び医療、福祉指数の加重平均値。2019-20 年平均=100。

財務省発表の 2025 年 10-12 月期法人企業統計調査によれば、同期の全産業ベースの経常利益(季節調整値、金融業、保険業を除く)は、前期比+1.6%と 3 四半期連続の増加。企業収益は最高益を更新している(図表 21)。製造業は同+9.8%と 2 四半期連続の増加、非製造業は同-2.6%と 5 四半期ぶりの減少となった。デジタル省力化投資やデータセンター等の建設投資を中心に拡大のポテンシャルは強いが、中東情勢悪化によるリスク回避センチメントが設備投資拡大に影を落としている。

図表 21 経常利益: 10 億円

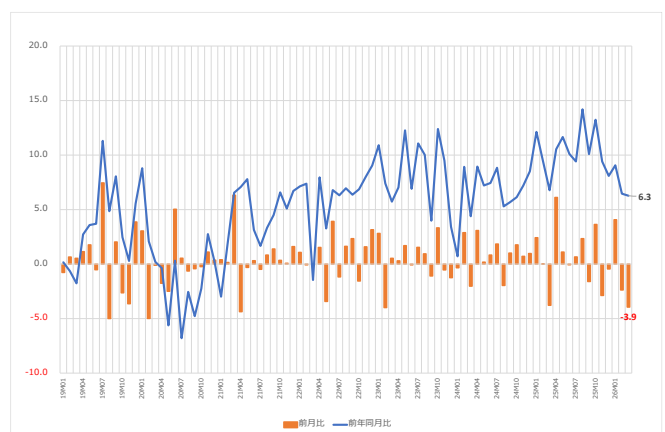


出所: 財務省『法人企業統計調査(令和 7 年 7-9 月期)』

経済産業省の投資関連指標をみると、3 月の資本財出荷指数(確報)は前月比-3.0%と 2 カ月連続の低下となった。1-3 月期は前期比+1.0%と 2 四半期連続の上昇だが、前期(同+1.8%)から減速した。

無形固定資産であるソフトウェア投資は減速気味である。総務省のサービス産業動態統計(速報)によれば、3 月の情報サービス業売上高は前年同月比+6.3%と 48 カ月連続の増加、伸びは 5 カ月連続で前月から減速した。季節調整値(APIR 推計)は前月比-3.9%と 2 カ月連続の減少(図表 22)。結果、1-3 月期は前期比-0.2%と 8 四半期ぶりに減少した(10-12 期: 前期比+1.2%)。

図表 22 情報サービス業売上高: 伸び率: %



出所: 総務省『サービス産業動態統計調査』

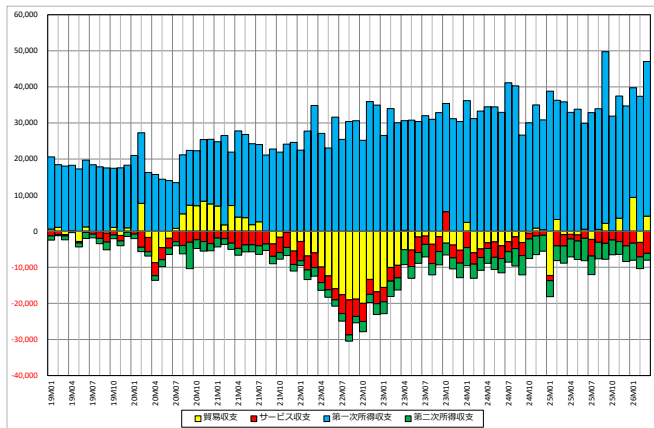
足下の資本財出荷や情報サービス業売上高の動きを考慮し、2026 年度の実質民間企業設備は前年度比+1.6%(前回:+2.2%)、27 年度+1.8%(前回:+2.6%)

と緩やかな伸びを予測した。中東情勢の悪化からリスク回避によるセンチメントの悪化を反映し前回予測から、26-27年度を下方修正した。

(6) 対外部門：高まる原油価格高騰のリスク

財務省の国際収支状況(速報)によると(図表23)、3月の経常収支(季節調整値)は41カ月連続の黒字となり、前月比+44.4%と2カ月ぶりに拡大。結果、1-3月期の経常黒字は前期比+18.1%と2四半期ぶりの拡大となった(10-12月期：前期比-7.2%)。

図表23 経常収支：季節調整値：億円



出所：財務省『国際収支状況』

3月の貿易収支(季節調整値)は2カ月ぶりの黒字、収支は前月差+7,278億円拡大した。1-3月期の貿易収支は前期比+176.7%と2四半期連続で拡大した(10-12月期：前期比+806.4%)。

3月のサービス収支(季節調整値)は29カ月連続の赤字、赤字幅は前月比+52.5%拡大した。1-3月期のサービス収支赤字は前期比+43.4%拡大した(10-12月期：前期比-15.0%)。

3月の第一次所得収支(季節調整値)は前月比+14.6%と2カ月連続の増加。1-3月期の第一次所得収支黒字は前期比+10.3%拡大した(10-12月期：前期比-11.9%)。

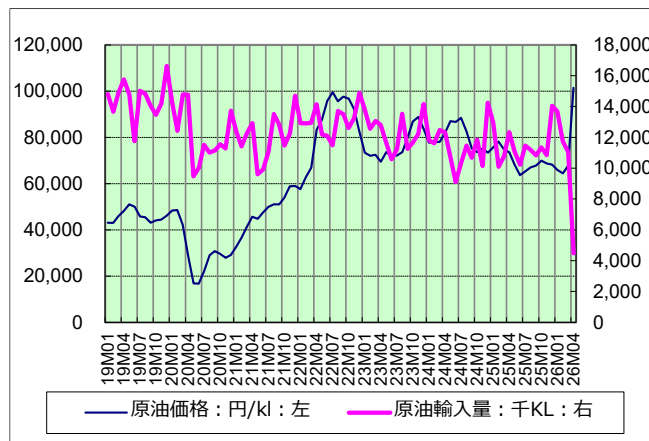
財務省発表の貿易統計(速報)によると、4月の貿易収支は3カ月連続の黒字となった。収支は前年同月差

+4,514億円改善した。季節調整値は2カ月連続の黒字となり、前月比+150.1%拡大した。結果、4月の貿易黒字は1-3月平均比+146.6%拡大した。

4月の輸出額(季節調整値)は前月比+1.4%と2カ月連続の増加。輸入額(季節調整値)は同-0.0%と2カ月連続の減少となった。4月を1-3月平均と比較すると、輸出は+0.4%(1-3月期：前期比+7.8%)増加したが、輸入は-1.0%(1-3月期：前期比+2.2%)減少した。

財別にみれば、4月輸出の増加品目は半導体等電子部品、非鉄金属、及び原動機等である。輸入の増加品目は、半導体等電子部品、石油製品、及び非鉄金属等である。なお、輸入の減少品目では原油が供給制約により大幅減少した(数量：前年同月比-63.7%、金額：同-49.9%)。また原油価格は+37.9%上昇した(図表24)。

図表24 原油価格と輸入量



出所：日本銀行『実質輸出入の動向』

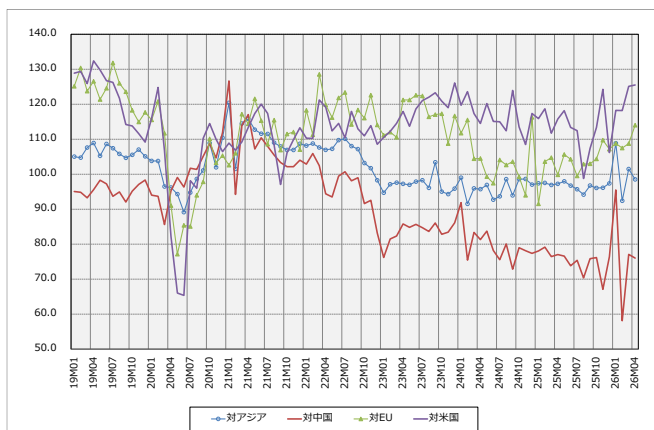
実質ベース(日本銀行)でみれば、4月の実質輸出額(2020年平均=100)は前月比-2.8%と2カ月ぶりの減少。実質輸入額(2020年平均=100)は同-3.9%と2カ月連続の減少となった。4月を1-3月平均と比較すれば、実質輸出額は-3.1%(10-12月期：前期比+2.2%)、実質輸入額は-5.3%(10-12月期：+2.0%)、それぞれ減少した。結果、4月の実質財貨純輸出は実質GDP成長率にプラス寄与となった。

地域別貿易動向(数量ベース、2020年平均=100、季節調整値：筆者推計)をみれば、4月の対アジア輸出は

前月比-2.9%、対中国輸出は同-1.4%、対米国輸出は同+0.3%、対 EU 輸出は同+4.8%となった。4 月を 1-3 月平均と比較すれば、対アジアは-2.4%、対中国は-1.1%、対米国は+4.1%、対 EU+5.2%となった。輸出はアジア向けが減少し、米国、EU 向けが増加している。

一方、4 月の対アジア輸入は前月比+6.2%、対中国輸入は同+4.4%、対米国輸入は同+4.4%、対 EU 輸入は同-8.7%となった。4 月を 1-3 月平均と比較すれば、対アジアは+2.2%、対中国は-3.7%、対米国は+3.4%、対 EU は-8.0%となった。輸入はアジアと米国が増加している。

図表 25 地域別輸出数量指数(2020=100)



出所：財務省『貿易統計』

これら足下の要因を考慮し、2026 年度の財貨・サービス実質輸出は前年度比-0.3%(前回：+1.3%)、27 年度+2.1%(前回：+2.4%)と予測する。一方、26 年度の財貨・サービス実質輸入は同+1.2%(前回：+1.7%)、27 年度同+2.3%(前回：+2.4%)と予測する。前回予測から、26、27 年度の財貨・サービス実質輸出を下方修正した。また実質輸入については、内需の見方を修正したため、25-26 年度を下方修正した。

金額ベースでは、26 年度は原油価格が大幅上昇するため貿易収支は赤字に転じる。堅調なインバウンド需要の拡大に陰りが出ている。一方でデジタル赤字は着実に拡大するため、サービス収支赤字の改善は遅れる。一方、高水準の第一次所得収支が持続するため、2026

年度の経常収支は+17.2 兆円(前回：+32.3 兆円)、27 年度+20.4 兆円(前回：+32.3 兆円)と予測する。前回予測から 26-27 年度を大幅下方修正した。なお、以上のベースライン予測に対して、原油価格が高止まりするシミュレーションを行った(Box:「ホルムズ海峡封鎖の長期化」シミュレーションを参照)。

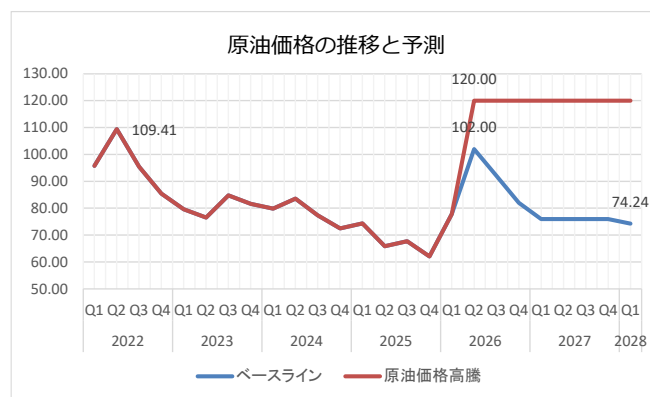
Box : 「ホルムズ海峡封鎖の長期化」のシミュレーション

【原油価格の想定：ベースライン vs. シミュレーション】

ベースラインにおける世界原油価格の想定は、2026 年 4-6 月期に 102 ドルに高騰し、27 年 1-3 月期に 76 ドルに低下し、以降ほぼ同水準で落ち着くとしている。25 年 10-12 月期の実績(62.04 ドル)と比較すると、26 年 4-6 月期は+40.0 ドル、予測期間の最終期(28 年 1-3 月期)は+12.2 ドルとなっている。今回のショックで、原油価格に+10 ドル程度の水準上昇が起こっている。

以上の想定に比して、「ホルムズ海峡封鎖の長期化」のシミュレーションを行った。ホルムズ海峡の事実上の封鎖は、これまで入手できた原油価格が大幅に引き上がる。結果、26 年 4-6 月期に 120 ドルに高騰し、予測期間は同水準で高止まると想定した。ベースラインに比して、26 年度で+36 ドル、27 年度で+59 ドル程度の上昇である(図表 26)。

図表 26 原油価格の推移と予測：ドル/バーレル



出所：各種新聞資料から筆者作成

【原油価格の比較：ロシアのウクライナ侵攻時と今回】

ちなみに、ロシアのウクライナ侵攻時には原油価格は 2022 年 1-3 月期 95.77 ドル、4-6 月期 109.41 ドルに高騰している。21 年 10-12 月期 78.36 ドルと比較して、22 年 1-3 月

期は+17.4 ドル(+22.2%)、4-6 月期は+31.1 ドル(+39.6%)の上昇である。今回のシミュレーションでは、22 年 4-6 月期を上回る原油価格を想定している。

【原油価格高騰のシミュレーション】

原油価格が 120 ドルの高水準で推移した場合のシミュレーション結果が表 8(p.21)に示されている。原油価格高騰の影響が通年で出てくる 2027 年度を中心に見ていこう。

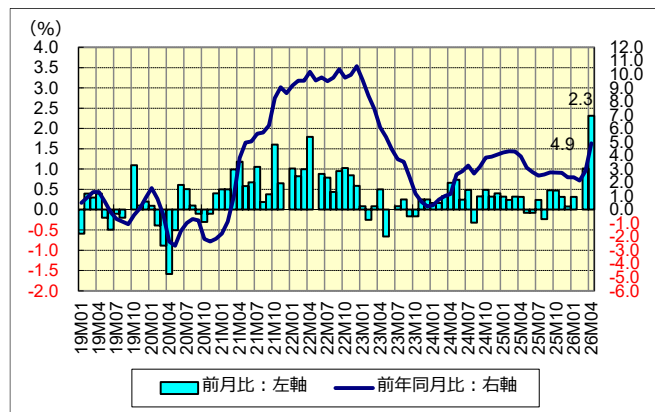
実物経済への影響を見ると、実質 GDP は-1.2 兆円、-0.2% 減少する。実質可処分所得が-1.2 兆円、-0.4%減少するため、実質民間最終消費支出は-0.34 兆円、-0.1%減少する。

一方、物価に与える影響をみれば、原油価格+58.9%の上昇により、国内企業物価指数は+2.9%、コア CPI は+0.5%、輸出デフレーターは+2.7%、輸入デフレーターは+3.8%、ベースラインより上昇する。

(7) 物価の動向：輸入物価上昇が幅広い品目に波及し、26-27 年度消費者物価インフレは 2%台半ば

日本銀行によれば、4 月の国内企業物価指数(2020 年平均=100)は前月比+2.3%と 2 カ月連続の上昇。前年同月比+4.9%と 62 カ月連続のプラス、上昇率は前月から 2%ポイント拡大し、2023 年 5 月(+5.4%)以来の高い値となった(図表 27)。

図表 27 国内企業物価指数(2020=100)：伸び率



出所：日本銀行『国内企業物価指数』

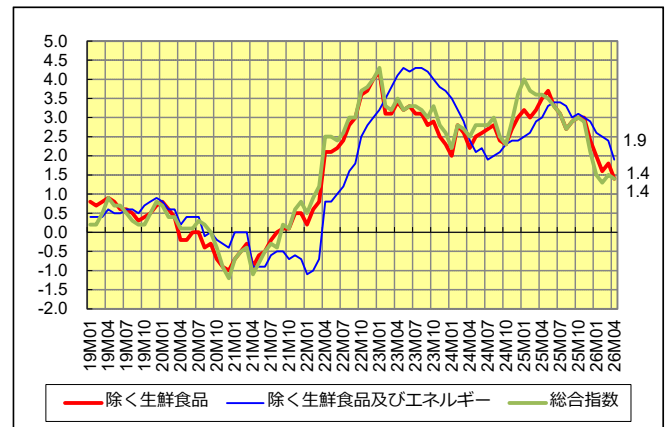
類別に前月比(+2.3%)への寄与度を見ると、石油・石炭製品(+0.76%ポイント)、化学製品(+0.48%ポイント)、

電力・都市ガス・水道(+0.47%ポイント)、非鉄金属(+0.14%ポイント)、飲食料品(+0.09%ポイント)、プラスチック製品(+0.09%ポイント)等は押し上げに寄与した。

4 月の輸出物価指数(2020 年平均=100)は契約通貨ベースで前年同月比は+9.6%と 8 カ月連続の上昇となった。同月のドル相場(月中平均)は 159.28 円となり、前月比+0.4%と 2 カ月連続の円安、前年同月比+10.3%と 9 カ月連続の円安となった。このため、円ベース指数は同+18.9%と 8 カ月連続の上昇となった。輸入物価指数(2020 年平均=100; 契約通貨ベース)は、同-0.2%と 17 カ月連続の低下。円ベース指数は同+17.5%と 5 カ月連続の上昇で 2022 年 12 月以来の高水準となった(前月：同+8.0%)となった。

結果、4 月の交易条件指数(輸出物価指数/輸入物価指数*100)は前月差-1.4 ポイントと 2 カ月連続の低下(悪化)となった。前年同月差+1.1 ポイントと 37 カ月連続の上昇だが、改善幅は前月(+3.4 ポイント)から縮小した。

図表 28 全国消費者物価指数(2020=100)：前年同月比、%



出所：総務省『全国消費者物価指数』

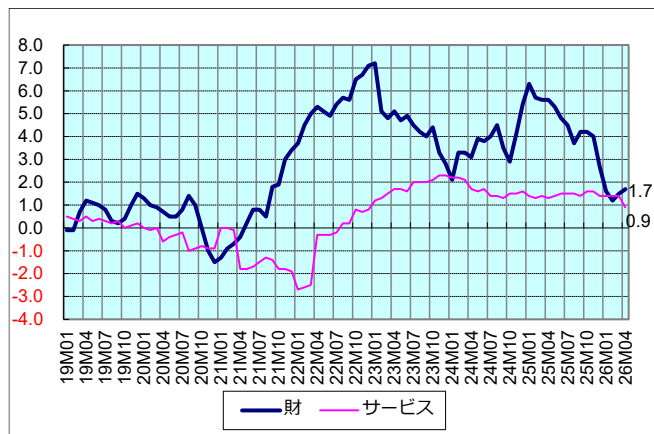
総務省によれば、4 月の全国消費者物価総合指数(2020 年平均=100)は前年同月比+1.4%と 56 カ月連続の上昇。コア指数(除く生鮮食品)は同+1.4%と 56 カ月連続の上昇だが、インフレ率は 3 カ月連続の 2%割れとなった。コアコア指数(除く生鮮食品及びエネルギー)は同+1.9%と 49 カ月連続の上昇。インフレ率は 2022 年 9 月(+1.8%)以降初めて 2%を割り込んだ(図

表 28)。

4 月総合指数(前年同月比+1.5%)の品目別動向をみると、エネルギーは同-3.9%と 5 カ月連続の低下。寄与度は-0.31%。ガソリン旧暫定税率廃止や 1 月から実施した電気・ガス代補助の影響が重なった。うち、電気代は同-2.6%と 5 カ月連続の低下。寄与度は-0.10%。都市ガス代は同-5.1%と 5 カ月連続で低下した。寄与度は-0.05%。ガソリンは同-9.7%と 6 カ月連続で低下した。寄与度は-0.22%。非エネルギーは同+1.8%と 49 カ月連続の上昇。寄与度は+1.71%となった。うち、生鮮食品を除く食料は同+4.1%となり、58 カ月連続の上昇。インフレ率は 9 カ月連続で前月から減速した。寄与度は+1.01%。うち、米類が同+0.6%と 41 カ月の上昇だが、11 カ月連続で減速した。寄与度は+0.01%。

図表 29 項目別全国消費者物価指数(2020=100) :

前年同月比、%



出所：総務省『全国消費者物価指数』

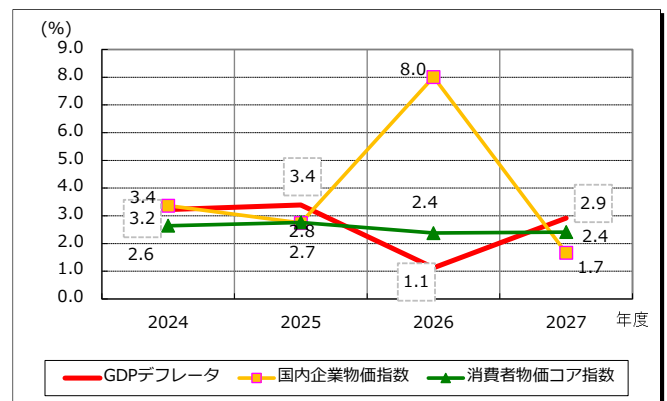
財・サービス分類で見れば、財は前年同月比+1.7%と 60 カ月連続の上昇となった。寄与度は+0.95%。サービスは同+0.9%と 45 カ月連続の上昇となった。寄与度は+0.43%。サービス支出関連では、宿泊料は同+4.6%と 37 カ月連続の上昇。寄与度は+0.05%。高

等学校授業料(私立)は同-68.8%の低下。寄与度は-0.18%。

これらを反映し、国内企業物価指数を 2026 年度は前年度比+8.0%(前回：+1.9%)、27 年度+1.7%(前回：+1.1%)と予測する。原油価格高騰の影響を反映し 26 年度を大幅上方修正した。

消費者物価インフレ率は、補助金政策に左右される部分が大きく、エネルギー価格は輸入価格の伸びを抑制する。一方、輸入価格上昇は幅広く他の品目に波及してインフレを加速させる。2026 年後半も高止まり傾向が顕著で、3%を割り込むのは輸入価格低下の効果が表れる 27 年度後半となろう。結果、消費者物価コア指数のインフレ率を、26 年度+2.4%(前回：+1.8%)、27 年度+2.4%(前回：+1.9%)と予測する。26 年度及び 27 年度の予測を前回から大幅上方修正した。

図表 30 物価の動向：前年比、%



出所：筆者作成

また、GDP デフレーターは 26 年度+1.1%(前回：+1.8%)、27 年度+2.9%(前回：+1.8%)と予測する(図表 30)。26 年度は交易条件の悪化を受けるので、前回予測から大幅下方修正した。27 年度はその裏が出るので上方修正した。

予測結果の詳細表

表1 主要経済指標

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
実質国内総生産	593.1	589.4	590.7	593.7	593.0	594.7	596.0	596.7	598.3	599.6	601.7	604.0	587.1	591.9	595.1	600.9
兆円	0.3	-0.6	0.2	0.5	-0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	0.8	0.5	1.0
	1.8	0.5	0.4	0.4	0.0	0.9	0.9	0.5	0.9	0.8	1.0	1.2				
名目国内総生産	665.0	665.4	671.7	677.2	662.3	683.0	684.9	694.5	698.6	704.9	709.7	718.2	642.8	670.0	681.2	707.8
兆円	2.0	0.1	0.9	0.8	-2.2	3.1	0.3	1.4	0.6	0.9	0.7	1.2	3.7	4.2	1.7	3.9
	5.2	4.0	3.8	3.9	-0.4	2.6	2.0	2.5	5.5	3.2	3.6	3.4				
GDPデフレーター	112.1	112.9	113.7	114.1	111.7	114.8	114.9	116.4	116.8	117.6	117.9	118.9	109.5	113.2	114.5	117.8
2020 = 100	1.7	0.7	0.7	0.3	-2.1	2.8	0.1	1.3	0.3	0.7	0.3	0.8	3.2	3.4	1.1	2.9
	3.3	3.5	3.4	3.4	-0.4	1.7	1.1	2.0	4.6	2.4	2.6	2.2				
鉱工業生産指数	101.3	100.2	100.5	103.0	101.9	101.4	101.4	101.7	102.0	102.5	103.0	103.5	101.4	101.2	101.6	102.8
2020 = 100	-0.5	-1.0	0.2	2.5	-1.0	-0.5	0.0	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	-1.5	-0.2	0.4	1.1
	0.1	-1.2	-1.3	1.2	0.6	1.2	0.9	-1.2	0.1	1.1	1.6	1.8				
住宅着工戸数：新設住宅	155	180	189	187	182	184	186	190	190	187	186	185	816	711	742	748
千戸	-28.5	16.0	5.1	-1.1	-2.8	1.4	0.8	2.6	-0.1	-1.9	-0.5	-0.2	2.0	-12.9	4.3	0.8
	-25.2	-9.0	-2.1	-13.8	17.1	2.4	-1.8	1.9	4.8	1.4	0.0	-2.7				
国内企業物価指数	126.5	126.7	127.9	128.9	135.2	138.2	138.4	139.1	138.9	139.6	140.2	141.3	124.1	127.5	137.7	140.0
2020 = 100	0.5	0.2	0.9	0.8	4.9	2.2	0.1	0.5	-0.1	0.5	0.4	0.8	3.4	2.7	8.0	1.7
	3.3	2.6	2.6	2.5	6.9	9.1	8.2	7.9	2.8	1.0	1.3	1.6				
消費者物価コア指数	111.2	111.5	112.3	111.8	113.2	113.9	114.8	115.5	116.6	117.1	117.4	117.4	108.7	111.7	114.4	117.1
2020 = 100	1.2	0.3	0.7	-0.4	1.2	0.6	0.8	0.6	0.9	0.4	0.3	0.0	2.6	2.8	2.4	2.4
	3.5	2.9	2.8	1.8	1.8	2.1	2.3	3.3	3.0	2.8	2.3	1.6				
一人当たり賃金	4391	4406	4439	4476	4488	4520	4553	4567	4601	4635	4661	4687	4310	4428	4532	4646
千円	1.3	0.3	0.7	0.8	0.3	0.7	0.7	0.3	0.7	0.8	0.5	0.6	2.4	2.7	2.3	2.5
	2.7	2.5	2.6	3.2	2.2	2.6	2.6	2.0	2.5	2.5	2.4	2.6				
完全失業率 %	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.7	2.6
譲渡性預金金利 %	0.385	0.391	0.417	0.582	0.667	0.917	0.917	0.917	1.167	1.167	1.167	1.167	0.157	0.245	0.855	1.167
10年物国債利回り %	1.410	1.600	1.843	2.233	2.520	2.771	2.771	2.790	3.019	3.033	3.024	3.041	1.082	1.772	2.713	3.029
経常収支 兆円	7.4	8.9	8.3	9.8	3.1	4.8	4.8	4.5	4.1	4.8	5.4	6.1	30.0	34.5	17.2	20.4
対名目GDP比	4.4	5.4	4.9	5.8	1.9	2.8	2.8	2.6	2.4	2.7	3.1	3.4	4.7	5.2	2.5	2.9
原油価格 ドル/バレル	65.88	67.75	62.04	77.84	102.00	92.00	82.00	75.96	75.96	75.96	74.24	74.24	76.94	68.38	87.99	75.53
円下り為替レート	144.5	147.4	154.1	156.8	158.1	157.4	156.7	154.0	153.0	152.0	151.0	150.0	152.5	150.7	156.5	151.5
一般政府累積赤字 兆円	1299.8	1311.5	1323.3	1335.0	1351.4	1367.6	1384.5	1401.6	1419.6	1437.9	1456.3	1474.6	1288.0	1335.0	1401.6	1474.6
	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	2.1	3.6	5.0	5.2
	2.5	2.9	3.3	3.6	4.0	4.3	4.6	5.0	5.0	5.1	5.2	5.2				
対GDP比 %	195.5	197.1	197.0	197.1	197.9	198.1	198.3	198.5	198.7	199.1	199.6	200.2	200.4	199.3	205.8	208.3
財政バランス 兆円	-29.6	-27.2	-27.8	-34.7	-48.6	-47.7	-50.9	-52.6	-55.5	-56.7	-57.0	-57.0	-37.0	-29.8	-50.0	-56.6

注1：伸び率の単位は%。シャドーは実績値。以下の表で国内総生産及びその構成要素の四半期系列(実質、名目、デフレーター)の前年同期比は季節調整値から計算しており、原系列から計算した成長率(政府発表値)と異なる場合がある。各項目下の第1行、第2行はそれぞれ前期比、前年同期比を示す。

出所：筆者作成

表2 国内総支出 (実質)

2020年連鎖価格表示、兆円、%

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
民間最終消費支出	307.3	308.9	309.0	309.8	310.1	310.5	310.9	311.2	311.9	312.5	313.5	314.5	305.1	308.8	310.7	313.1
	0.2	0.5	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	1.2	0.6	0.8
	1.3	1.3	1.4	1.0	0.9	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.8	1.0				
民間住宅	23.1	21.2	22.3	22.4	22.4	22.4	22.5	22.3	22.4	22.4	22.3	22.3	23.1	22.3	22.4	22.3
	0.0	-8.1	5.0	0.5	-0.1	0.1	0.1	-0.5	0.3	-0.2	-0.3	0.0	-0.7	-3.5	0.7	-0.3
	1.4	-7.9	-4.0	-3.1	-3.1	5.6	0.7	-0.3	0.0	-0.3	-0.7	-0.2				
民間企業設備	106.2	106.1	107.6	107.9	108.3	108.5	108.8	109.1	109.6	110.3	111.0	111.8	104.5	107.0	108.7	110.7
	1.2	-0.1	1.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	2.4	1.6	1.8
	2.1	1.2	3.2	2.8	1.9	2.2	1.2	1.1	1.3	1.6	2.0	2.4				
民間在庫変動	1.4	0.5	-1.3	-1.7	-1.2	-0.5	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	0.2	-0.3	-0.5	-0.2
政府最終消費支出	122.1	122.2	122.7	122.8	123.1	123.3	123.5	123.7	124.0	124.2	124.4	124.7	121.5	122.5	123.4	124.3
	0.7	0.1	0.4	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	2.3	0.8	0.8	0.7
	0.5	0.6	0.9	1.2	0.8	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8				
公的固定資本形成	27.7	27.4	27.3	27.7	27.8	27.9	28.0	28.1	28.1	28.2	28.3	28.4	27.7	27.5	27.9	28.3
	0.4	-1.1	-0.2	1.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	-0.6	1.5	1.1
	0.6	-1.7	-1.6	0.5	0.5	1.9	2.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0				
公的在庫変動	-0.11	-0.05	-0.07	-0.09	0.01	-0.02	-0.02	-0.03	-0.01	-0.02	-0.02	-0.02	-0.05	-0.07	-0.01	-0.02
財貨・サービスの純輸出	5.9	4.4	4.6	6.0	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.8	5.7	5.2	3.7	3.6
財貨・サービスの輸出	107.8	106.1	106.2	108.1	105.9	106.5	107.1	107.5	108.1	108.6	109.2	110.1	105.0	107.0	106.7	109.0
	1.6	-1.6	0.2	1.7	-2.0	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	0.8	2.7	1.9	-0.3	2.1
	5.1	1.1	-0.3	1.9	-1.7	0.4	0.8	-0.5	2.1	2.0	2.0	2.4				
財貨・サービスの輸入	101.8	101.7	101.6	102.1	102.3	102.7	103.4	103.9	104.4	105.1	105.7	106.4	99.3	101.8	103.1	105.4
	1.1	-0.2	0.0	0.5	0.2	0.4	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.7	4.0	2.6	1.2	2.3
	4.6	1.2	3.2	1.4	0.5	1.1	1.7	1.7	2.1	2.3	2.2	2.4				
国内総生産	593.1	589.4	590.7	593.7	593.0	594.7	596.0	596.7	598.3	599.6	601.7	604.0	587.1	591.9	595.1	600.9
	1.4	-2.5	0.8	2.1	-0.4	1.1	0.9	0.5	1.0	0.9	1.4	1.5	0.5	0.8	0.5	1.0
	0.3	-0.6	0.2	0.5	-0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.4				
	1.8	0.5	0.4	0.4	0.0	0.9	0.9	0.5	0.9	0.8	1.0	1.2				
内需寄与度	0.2	-0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.8	1.0	0.8	1.0
内、民需	0.1	-0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.8	0.6	0.8
内、公需	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.2	0.2
外需寄与度	0.1	-0.3	0.0	0.3	-0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.3	-0.2	-0.3	0.0
国内総所得	585.8	583.2	585.0	587.1	572.3	579.8	580.6	582.2	583.5	585.8	588.5	591.4	577.6	585.5	578.7	587.3
	3.6	-1.8	1.2	1.4	-9.7	5.4	0.5	1.1	0.9	1.6	1.9	2.0	-0.4	1.4	-1.2	1.5
	0.9	-0.4	0.3	0.4	-2.5	1.3	0.1	0.3	0.2	0.4	0.5	0.5				
	2.3	1.0	1.0	1.1	-2.3	-0.6	-0.8	-0.8	2.0	1.0	1.4	1.6				

注2：GDP構成要素の四半期系列下(実質、名目、デフレータ)の第1行、第2行はそれぞれ前期比、前年同期比を示す。国内総生産及び国内総所得の四半期系列下の第1行は前期比年率、第2行及び第3行はそれぞれ前期比、前年同期比を示す。

出所：筆者作成

表3 国内総支出（名目）

兆円、%

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
民間最終消費支出	349.2	352.6	354.7	357.0	359.5	362.8	365.1	369.0	371.7	374.1	376.0	379.4	340.2	353.4	364.1	375.3
	0.8	1.0	0.6	0.6	0.7	0.9	0.6	1.1	0.7	0.6	0.5	0.9	2.8	3.9	3.0	3.1
	4.3	4.1	4.1	3.0	2.9	2.9	2.9	3.3	3.4	3.1	3.0	2.8				
民間住宅	28.1	26.1	27.6	28.1	29.0	29.3	29.0	29.2	29.6	29.5	29.3	29.4	27.6	27.5	29.1	29.4
	0.5	-7.1	5.5	2.0	3.1	0.9	-0.8	0.6	1.3	-0.2	-0.7	0.4	2.6	-0.3	6.0	1.1
	4.1	-4.7	-0.8	0.4	3.0	11.9	5.2	3.8	2.0	0.8	0.9	0.8				
民間企業設備	123.0	124.0	127.0	128.7	133.5	136.7	137.9	139.6	139.9	141.3	143.0	145.4	119.2	125.8	136.9	142.4
	1.8	0.9	2.4	1.3	3.7	2.5	0.9	1.2	0.2	1.0	1.3	1.7	4.2	5.6	8.8	4.0
	4.5	4.3	6.6	6.6	8.5	10.2	8.6	8.5	4.8	3.3	3.7	4.2				
民間在庫変動	2.6	0.4	-1.8	-3.0	-1.1	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	-0.4	0.2	0.5
政府最終消費支出	131.4	132.2	133.0	133.9	135.0	136.1	136.6	138.8	139.5	140.3	140.6	141.5	129.1	132.6	136.6	140.5
	1.2	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.3	1.6	0.6	0.6	0.2	0.6	4.6	2.7	3.0	2.8
	2.4	2.5	2.7	3.1	2.7	3.0	2.7	3.6	3.4	3.1	3.0	1.9				
公的固定資本形成	32.6	32.6	32.8	33.6	35.0	35.7	35.4	35.8	36.3	36.7	36.6	37.0	32.0	32.9	35.5	36.6
	1.3	-0.2	0.6	2.4	4.2	2.0	-0.8	1.3	1.2	1.2	-0.4	1.2	3.9	2.8	7.8	3.4
	3.2	1.8	1.7	4.2	7.1	9.5	8.0	6.8	3.8	3.0	3.4	3.3				
公的在庫変動	-0.16	-0.04	-0.07	-0.08	-0.02	-0.04	-0.04	-0.05	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.08	-0.09	-0.04	-0.04
財貨・サービスの純輸出	-1.8	-2.6	-1.5	-1.0	-2.4	-1.4	-1.9	-1.8	-1.8	-1.7	-1.6	-1.5	-5.4	-1.7	-2.1	-1.9
財貨・サービスの輸出	143.5	144.5	149.9	156.3	158.3	163.5	166.2	168.5	169.2	171.9	174.2	176.7	143.4	148.6	164.1	173.0
	-0.1	0.7	3.7	4.3	1.3	3.2	1.7	1.4	0.4	1.6	1.3	1.4	7.9	3.6	10.5	5.4
	1.1	1.2	3.2	8.8	10.4	13.1	10.9	7.8	6.9	5.1	4.8	4.9				
財貨・サービスの輸入	145.3	147.1	151.4	157.3	186.8	181.9	185.9	186.8	188.0	189.3	190.5	191.7	148.8	150.3	185.3	189.9
	-3.7	1.2	3.0	3.9	18.8	-2.6	2.2	0.5	0.6	0.7	0.6	0.6	7.2	1.0	23.3	2.5
	-2.0	-1.5	3.3	4.2	28.5	23.7	22.7	18.8	0.7	4.1	2.5	2.6				
国内総生産	665.0	665.4	671.7	677.2	662.3	683.0	684.9	694.5	698.6	704.9	709.7	718.2	642.8	670.0	681.2	707.8
	8.2	0.3	3.8	3.4	-8.5	13.1	1.2	5.7	2.4	3.6	2.7	4.9	3.7	4.2	1.7	3.9
	2.0	0.1	0.9	0.8	-2.2	3.1	0.3	1.4	0.6	0.9	0.7	1.2				
	5.2	4.0	3.8	3.9	-0.4	2.6	2.0	2.5	5.5	3.2	3.6	3.4				
内需寄与度	1.7	0.8	0.8	0.7	1.9	1.6	0.5	1.2	0.7	0.7	0.5	1.0	2.0	3.7	4.6	3.3
内、民需	1.3	0.6	0.6	0.5	1.5	1.3	0.4	0.8	0.5	0.5	0.5	0.8	2.5	3.0	3.6	2.5
内、公需	0.7	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	1.1	0.7	1.0	0.7
外需寄与度	-0.1	-0.2	0.2	0.1	-4.1	1.5	-0.2	0.2	-0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.6	-2.9	0.6

出所：筆者作成

表4 国内総支出（デフレーター）

2020年 = 100、%

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
民間最終消費支出	113.6	114.2	114.8	115.2	115.9	116.9	117.4	118.5	119.2	119.7	119.9	120.6	111.5	114.4	117.2	119.9
	0.7	0.5	0.5	0.4	0.6	0.8	0.5	0.9	0.5	0.5	0.2	0.6	2.7	2.6	2.4	2.3
	3.0	2.8	2.7	2.0	2.0	2.4	2.3	2.9	2.8	2.5	2.1	1.8				
民間住宅	121.7	123.1	123.7	125.4	129.4	130.5	129.3	130.6	132.0	132.0	131.4	131.9	119.5	123.5	129.9	131.8
	0.5	1.1	0.5	1.4	3.2	0.8	-0.9	1.1	1.0	0.0	-0.5	0.4	3.3	3.3	5.2	1.4
	2.6	3.5	3.4	3.6	6.4	6.0	4.5	4.1	2.0	1.2	1.7	1.0				
民間企業設備	115.8	116.9	118.0	119.3	123.3	126.0	126.8	127.9	127.6	128.1	128.9	130.1	114.0	117.6	126.0	128.7
	0.6	1.0	1.0	1.0	3.4	2.2	0.6	0.9	-0.2	0.4	0.6	1.0	3.3	3.1	7.2	2.1
	2.3	3.1	3.2	3.7	6.5	7.8	7.4	7.3	3.5	1.7	1.7	1.7				
政府最終消費支出	107.6	108.2	108.5	109.1	109.6	110.4	110.6	112.2	112.6	113.0	113.0	113.4	106.3	108.3	110.7	113.0
	0.5	0.6	0.2	0.6	0.5	0.7	0.2	1.4	0.4	0.4	0.0	0.4	2.2	1.9	2.2	2.1
	1.9	2.0	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	2.8	2.7	2.3	2.2	1.1				
公的固定資本形成	117.9	118.9	119.9	121.1	125.6	127.8	126.4	127.6	128.9	130.1	129.3	130.5	115.6	119.5	126.8	129.7
	0.9	0.9	0.8	1.0	3.7	1.7	-1.1	1.0	1.0	1.0	-1.2	0.9	3.8	3.3	6.1	2.2
	2.6	3.6	3.3	3.6	6.6	7.5	5.4	5.4	2.6	1.9	2.3	2.3				
財貨・サービスの輸出	133.1	136.2	141.1	144.6	149.5	153.6	155.2	156.7	156.6	158.3	159.5	160.5	136.6	138.9	153.8	158.7
	-1.7	2.3	3.6	2.5	3.4	2.7	1.1	1.0	-0.1	1.1	0.8	0.6	5.1	1.6	10.7	3.2
	-3.8	0.1	3.6	6.8	12.3	12.7	10.0	8.4	4.7	3.1	2.7	2.4				
財貨・サービスの輸入	142.7	144.7	149.0	154.0	182.6	177.1	179.8	179.9	180.0	180.2	180.3	180.3	150.0	147.7	179.8	180.2
	-4.7	1.4	3.0	3.4	18.6	-3.0	1.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	3.0	-1.5	21.8	0.2
	-6.4	-2.7	0.1	2.8	27.9	22.4	20.7	16.8	-1.4	1.8	0.3	0.2				
国内総生産	112.1	112.9	113.7	114.1	111.7	114.8	114.9	116.4	116.8	117.6	117.9	118.9	109.5	113.2	114.5	117.8
	1.7	0.7	0.7	0.3	-2.1	2.8	0.1	1.3	0.3	0.7	0.3	0.8	3.2	3.4	1.1	2.9
	3.3	3.5	3.4	3.4	-0.4	1.7	1.1	2.0	4.6	2.4	2.6	2.2				

出所：筆者作成

表5 生産・雇用・賃金・物価

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
鉱工業生産指数	101.3	100.2	100.5	103.0	101.9	101.4	101.4	101.7	102.0	102.5	103.0	103.5	101.4	101.2	101.6	102.8
2020=100	-0.5	-1.0	0.2	2.5	-1.0	-0.5	0.0	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	-1.5	-0.2	0.4	1.1
	0.1	-1.2	-1.3	1.2	0.6	1.2	0.9	-1.2	0.1	1.1	1.6	1.8				
労働力人口 万人	6997	7003	7027	7007	7012	7018	7031	7026	7021	7016	7015	7014	6968	7009	7022	7016
	0.1	0.1	0.3	-0.3	0.1	0.1	0.2	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.5	0.6	0.2	-0.1
	0.7	0.6	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.0	-0.2	-0.2				
就業者数 万人	6822	6826	6845	6820	6823	6829	6841	6840	6838	6837	6832	6834	6794	6826	6833	6835
	0.1	0.1	0.3	-0.4	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.6	0.5	0.1	0.0
	0.8	0.6	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	-0.1	-0.1				
雇用者数 万人	6176	6184	6205	6190	6192	6198	6209	6208	6207	6205	6201	6202	6142	6187	6202	6204
	0.1	0.1	0.3	-0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.9	0.7	0.2	0.0
	1.1	0.9	0.8	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	-0.1	-0.1				
完全失業率 %	2.5	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.7	2.6
国内企業物価指数	126.5	126.7	127.9	128.9	135.2	138.2	138.4	139.1	138.9	139.6	140.2	141.3	124.1	127.5	137.7	140.0
2020=100	0.5	0.2	0.9	0.8	4.9	2.2	0.1	0.5	-0.1	0.5	0.4	0.8	3.4	2.7	8.0	1.7
	3.3	2.6	2.6	2.5	6.9	9.1	8.2	7.9	2.8	1.0	1.3	1.6				
消費者物価コア指数	111.2	111.5	112.3	111.8	113.2	113.9	114.8	115.5	116.6	117.1	117.4	117.4	108.7	111.7	114.4	117.1
2020=100	1.2	0.3	0.7	-0.4	1.2	0.6	0.8	0.6	0.9	0.4	0.3	0.0	2.6	2.8	2.4	2.4
	3.5	2.9	2.8	1.8	1.8	2.1	2.3	3.3	3.0	2.8	2.3	1.6				

注3：各項目四半期系列下の第1行、第2行はそれぞれ前期比、前年同期比を示す。

出所：筆者作成

表6 金融

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
CDレート %	0.385	0.391	0.417	0.582	0.667	0.917	0.917	0.917	1.167	1.167	1.167	1.167	0.157	0.245	0.855	1.167
国債利回り %	1.410	1.600	1.843	2.233	2.520	2.771	2.771	2.790	3.019	3.033	3.024	3.041	1.082	1.772	2.713	3.029
貨幣供給量 兆円	1261.1	1269.3	1277.5	1282.5	1285.7	1291.6	1298.1	1302.2	1306.5	1312.0	1316.1	1319.8	1260.8	1282.5	1302.2	1319.8
	0.0	0.6	0.6	0.4	0.2	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	1.1	1.7	1.5	1.3
	0.7	1.3	1.7	1.7	1.9	1.8	1.6	1.5	1.6	1.6	1.4	1.3				
日経平均株価 円	20,135	23,129	27,164	29,853	33,124	33,401	34,427	33,956	33,956	33,956	33,956	33,956	21,112	25,070	33,727	33,956
2005年=100	162.0	186.0	218.5	240.1	266.4	268.7	276.9	273.1	273.1	273.1	273.1	273.1	169.8	201.7	271.3	273.1
	-4.4	14.9	17.4	9.9	11.0	0.8	3.1	-1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	18.7	34.5	0.7
	-5.1	10.9	27.4	41.8	64.5	44.4	26.7	13.7	2.5	1.7	-1.4	0.0				
為替レート (円/ドル)	144.5	147.4	154.1	156.8	158.1	157.4	156.7	154.0	153.0	152.0	151.0	150.0	152.5	150.7	156.5	151.5
	-5.2	2.0	4.5	1.8	0.8	-0.4	-0.4	-1.7	-0.6	-0.7	-0.7	-0.7	5.5	-1.2	3.8	-3.2
	-7.2	-1.2	1.1	2.8	9.3	6.7	1.7	-1.8	-3.2	-3.4	-3.6	-2.6				

出所：筆者作成

表7 対外部門

兆円、%

	四半期												年度			
	25Q2	25Q3	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2024	2025	2026	2027
財貨輸出 (実質)	79.8	79.0	78.6	80.3	78.5	78.8	79.0	79.1	79.3	79.5	79.8	80.4	78.0	79.4	78.8	79.8
SNAベース	1.4	-0.9	-0.5	2.2	-2.3	0.4	0.4	0.1	0.3	0.3	0.4	0.7	0.0	1.8	-0.7	1.2
	4.8	0.8	-0.2	2.0	-1.6	-0.3	0.6	-1.5	1.1	1.0	1.0	1.6				
財貨輸入 (実質)	72.7	72.3	71.8	72.1	70.9	71.4	71.9	72.4	72.8	73.3	73.7	74.1	70.8	72.2	71.6	73.5
SNAベース	1.5	-0.6	-0.7	0.4	-1.7	0.7	0.8	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6	2.1	1.9	-0.8	2.6
	4.9	0.4	2.3	0.5	-2.6	-1.3	0.2	0.4	2.8	2.7	2.4	2.4				
サービス輸出 (実質)	28.3	27.3	28.0	28.1	27.4	27.7	28.0	28.4	28.7	29.1	29.4	29.7	27.3	27.9	27.9	29.2
SNAベース	2.5	-3.5	2.4	0.4	-2.3	1.0	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.2	11.7	2.3	-0.2	4.8
	6.3	2.0	-0.7	1.7	-3.0	1.5	0.3	1.0	4.7	5.0	4.8	4.8				
サービス輸入 (実質)	30.5	30.9	31.4	31.7	31.4	31.4	31.4	31.5	31.6	31.8	32.0	32.2	29.8	31.1	31.4	31.9
SNAベース	0.0	1.2	1.9	0.8	-0.7	-0.2	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6	0.8	10.3	4.3	1.0	1.5
	3.9	3.8	5.7	3.8	3.1	1.7	0.0	-0.6	0.5	1.3	1.8	2.4				
財貨輸出 (名目)	106.6	108.3	112.2	118.1	119.0	123.0	124.8	126.4	126.4	128.2	129.4	131.1	107.8	111.3	123.3	128.8
SNAベース	-0.8	1.7	3.6	5.2	0.8	3.4	1.5	1.2	0.0	1.4	1.0	1.3	5.3	3.3	10.7	4.5
	-0.6	0.3	3.4	9.9	11.6	13.5	11.2	7.0	6.2	4.2	3.7	3.8				
財貨輸入 (名目)	106.9	107.5	110.4	114.9	136.2	132.4	135.1	135.5	136.0	136.5	136.9	137.2	110.9	110.0	134.8	136.7
SNAベース	-4.5	0.6	2.7	4.1	18.5	-2.8	2.0	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	4.7	-0.8	22.6	1.4
	-3.6	-3.6	1.3	2.7	27.5	23.2	22.4	17.9	-0.1	3.1	1.3	1.2				
サービス輸出 (名目)	36.9	36.2	37.7	38.2	39.4	40.5	41.4	42.1	42.8	43.7	44.8	45.6	35.6	37.3	40.9	44.2
SNAベース	2.0	-2.0	4.2	1.4	3.1	2.9	2.2	1.7	1.6	2.2	2.3	1.8	16.3	4.6	9.7	8.2
	6.3	4.0	2.6	5.5	6.7	12.1	10.0	10.3	8.7	7.9	8.0	8.1				
サービス輸入 (名目)	38.4	39.6	41.0	42.4	50.6	49.5	50.7	51.3	52.0	52.8	53.7	54.6	38.0	40.3	50.5	53.3
SNAベース	-1.6	2.9	3.7	3.2	19.4	-2.1	2.6	1.1	1.4	1.6	1.6	1.7	15.1	6.2	25.2	5.4
	2.8	4.8	8.9	8.5	31.5	25.1	23.7	21.1	2.8	6.7	5.7	6.4				
貿易収支：BOPベース	-0.1	0.0	0.4	1.0	-4.3	-2.4	-2.6	-2.3	-2.4	-2.1	-1.9	-1.5	-3.0	1.4	-11.5	-7.9
サービス収支：BOPベース	-0.5	-1.1	-0.9	-1.3	-2.7	-2.2	-2.3	-2.2	-2.2	-2.2	-2.2	-2.2	-3.1	-3.9	-9.4	-8.8
第一次所得収支：BOPベース	9.6	11.4	10.0	11.1	10.8	11.1	11.4	11.7	12.0	12.3	12.7	13.0	41.4	42.3	45.0	50.0
経常収支 (再掲)	7.4	8.9	8.3	9.8	3.1	4.8	4.8	4.5	4.1	4.8	5.4	6.1	30.0	34.5	17.2	20.4
BOPベース	-3.0	21.1	-7.2	18.1	-68.5	56.6	0.5	-7.8	-7.7	15.7	13.4	12.7	13.7	15.0	-50.1	18.5
	3.8	14.6	8.5	28.9	-58.1	-45.8	-41.4	-54.2	33.9	-1.1	11.6	36.3				
為替レート (円/ドル)	144.5	147.4	154.1	156.8	158.1	157.4	156.7	154.0	153.0	152.0	151.0	150.0	152.5	150.7	156.5	151.5
	-5.2	2.0	4.5	1.8	0.8	-0.4	-0.4	-1.7	-0.6	-0.7	-0.7	-0.7	5.5	-1.2	3.8	-3.2
	-7.2	-1.2	1.1	2.8	9.3	6.7	1.7	-1.8	-3.2	-3.4	-3.6	-2.6				

出所：筆者作成

表8 原油価格高騰シミュレーション：ベースラインと原油価格高止まりケースの比較表

	四半期										年度		
	25Q4	26Q1	26Q2	26Q3	26Q4	27Q1	27Q2	27Q3	27Q4	28Q1	2025	2026	2027
民間最終消費支出													
1. ベース (兆円)	309.0	309.8	310.1	310.5	310.9	311.2	311.9	312.5	313.5	314.5	308.8	310.7	313.1
2. 原油価格高止まり (兆円)	309.0	309.8	310.1	310.5	310.9	311.1	311.8	312.2	313.1	314.0	308.8	310.7	312.8
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	-0.4	-0.5	0.0	-0.0	-0.3
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	0.0	-0.0	-0.1
民間住宅													
1. ベース (兆円)	22.3	22.4	22.4	22.4	22.5	22.3	22.4	22.4	22.3	22.3	22.3	22.4	22.3
2. 原油価格高止まり (兆円)	22.3	22.4	22.4	22.4	22.4	22.3	22.3	22.2	22.1	22.0	22.3	22.4	22.2
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	-0.0	-0.2
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.2	-0.4	-0.6	-0.8	-1.1	0.0	-0.1	-0.7
民間企業設備													
1. ベース (兆円)	107.6	107.9	108.3	108.5	108.8	109.1	109.6	110.3	111.0	111.8	107.0	108.7	110.7
2. 原油価格高止まり (兆円)	107.6	107.9	108.3	108.5	108.8	109.0	109.5	110.0	110.7	111.4	107.0	108.6	110.4
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.3	-0.4	0.0	-0.0	-0.3
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	-0.4	0.0	-0.0	-0.2
財貨・サービスの輸出													
1. ベース (兆円)	106.2	108.1	105.9	106.5	107.1	107.5	108.1	108.6	109.2	110.1	107.0	106.7	109.0
2. 原油価格高止まり (兆円)	106.2	108.1	105.9	106.5	107.1	107.4	107.8	108.1	108.5	109.1	107.0	106.7	108.4
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.3	-0.5	-0.8	-1.0	0.0	-0.0	-0.7
乖離率 (%)	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.3	-0.5	-0.7	-0.9	0.0	-0.0	-0.6
財貨・サービスの輸入													
1. ベース (兆円)	101.6	102.1	102.3	102.7	103.4	103.9	104.4	105.1	105.7	106.4	101.8	103.1	105.4
2. 原油価格高止まり (兆円)	101.6	102.1	102.3	102.7	103.3	103.8	104.4	105.0	105.5	106.1	101.8	103.0	105.2
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	-0.0	-0.2
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	-0.0	-0.2
国内総生産													
1. ベース (兆円)	590.7	593.7	593.0	594.7	596.0	596.7	598.3	599.6	601.7	604.0	591.9	595.1	600.9
2. 原油価格高止まり (兆円)	590.7	593.7	593.0	594.7	595.9	596.4	597.7	598.6	600.3	602.1	591.9	595.0	599.7
乖離幅 (兆円)	0.000	0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.3	-0.6	-1.0	-1.4	-1.9	0.0	-0.1	-1.2
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.3	0.0	-0.0	-0.2
実質GDP成長率：前期比年率 (%)													
1. ベース	0.8	2.1	-0.4	1.1	0.9	0.5	1.0	0.9	1.4	1.5	0.8	0.5	1.0
2. 原油価格高止まり (兆円)	0.8	2.1	-0.5	1.1	0.9	0.3	0.8	0.6	1.1	1.2	0.8	0.5	0.8
乖離	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3	0.0	-0.0	-0.2
実質可処分所得													
1. ベース (兆円)	297.7	301.6	308.7	313.6	319.3	320.7	325.3	328.5	332.0	334.2	298.3	315.6	330.0
2. 原油価格高止まり (兆円)	297.7	301.6	308.7	313.4	319.0	320.1	324.5	327.4	330.6	332.5	298.3	315.3	328.8
乖離幅 (兆円)	0.0	0.0	-0.1	-0.2	-0.3	-0.5	-0.8	-1.1	-1.4	-1.7	0.0	-0.3	-1.2
乖離率 (%)	0.00	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.3	-0.4	-0.5	0.0	-0.1	-0.4
コア消費者物価指数 (2020=100)													
1. ベース	112.3	111.8	113.2	113.9	114.8	115.5	116.6	117.1	117.4	117.4	111.7	114.4	117.1
2. 原油価格高止まり	112.3	111.8	113.2	113.9	114.9	115.7	116.9	117.5	118.0	118.2	111.7	114.4	117.6
乖離幅	0.000	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	0.0	0.1	0.5
乖離率 (%)	0.00	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7	0.0	0.1	0.5
国内企業物価指数 (2020=100)													
1. ベース	127.9	128.9	135.2	138.2	138.4	139.1	138.9	139.6	140.2	141.3	127.5	137.7	140.0
2. 原油価格高止まり	127.9	128.9	135.4	138.7	139.5	140.9	141.7	143.2	144.6	146.7	127.5	138.6	144.1
乖離幅	0.000	0.0	0.2	0.5	1.1	1.9	2.7	3.6	4.5	5.3	0.0	0.9	4.0
乖離率 (%)	0.00	0.0	0.1	0.4	0.8	1.3	2.0	2.6	3.2	3.8	0.0	0.7	2.9
輸出デフレーター (2020=100)													
1. ベース	141.1	144.6	149.5	153.6	155.2	156.7	156.6	158.3	159.5	160.5	138.9	153.8	158.7
2. 原油価格高止まり	141.1	144.6	149.6	153.9	156.2	158.5	159.3	162.0	164.4	166.5	138.9	154.6	163.1
乖離幅	0.000	0.0	0.1	0.4	0.9	1.7	2.7	3.8	4.9	6.0	0.0	0.8	4.4
乖離率 (%)	0.00	0.0	0.1	0.2	0.6	1.1	1.7	2.4	3.1	3.8	0.0	0.5	2.7
輸入デフレーター (2020=100)													
1. ベース	149.0	154.0	182.6	177.1	179.8	179.9	180.0	180.2	180.3	180.3	147.7	179.8	180.2
2. 原油価格高止まり	149.0	154.0	183.5	179.3	183.6	185.0	186.0	186.8	187.4	187.9	147.7	182.9	187.0
乖離幅	0.000	0.0	1.0	2.2	3.8	5.1	6.0	6.6	7.1	7.7	0.0	3.0	6.9
乖離率 (%)	0.00	0.0	0.5	1.3	2.1	2.8	3.3	3.7	3.9	4.2	0.0	1.7	3.8
原油価格 (ドル/バレル)													
1. ベース	62.0	77.8	102.0	92.0	82.0	76.0	76.0	76.0	76.0	74.2	68.4	88.0	75.5
2. 原油価格高止まり	62.0	77.8	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	68.4	120.0	120.0
乖離幅	0.000	0.0	18.0	28.0	38.0	44.0	44.0	44.0	44.0	45.8	0.0	32.0	44.5
乖離率 (%)	0.00	0.0	17.6	30.4	46.3	58.0	58.0	58.0	58.0	61.6	0.0	36.4	58.9

出所：筆者作成

付表 主要月次統計1

[月次統計]	25/Q1	=====	<=====	25/Q2	=====	<=====	25/Q3	=====	<=====	25/Q4	=====	<=====	26/Q1	=====	<=====	
	25/2M	25/3M	25/4M	25/5M	25/6M	25/7M	25/8M	25/9M	25/10M	25/11M	25/12M	26/1M	26/2M	26/3M	26/4M	
A. 生産及び労働:																
A.01 鉱工業生産指数(2020=100)@	102.0	101.4	100.5	101.8	101.5	100.5	99.2	101.0	101.6	99.6	100.2	104.5	102.4	102.0	UN	
前月比(%)	0.1	-0.6	-0.9	1.3	-0.3	-1.0	-1.3	1.8	0.6	-2.0	0.6	4.3	-2.0	-0.4	UN	
前年同月比(%)	4.1	0.0	-0.3	-0.1	0.8	-2.0	-1.3	-0.2	-1.4	-1.7	-0.8	2.6	0.4	0.6	UN	
A.02 同出荷指数(2020=100)@	100.7	99.3	99.2	100.4	100.3	98.8	98.9	99.6	100.5	99.5	98.4	102.1	100.6	99.7	UN	
前月比(%)	1.6	-1.4	-0.1	1.2	-0.1	-1.5	0.1	0.7	0.9	-1.0	-1.1	3.8	-1.5	-0.9	UN	
前年同月比(%)	4.8	-0.7	-0.5	-2.3	0.8	-2.2	-0.2	-0.3	-0.6	0.0	-1.1	3.0	-0.1	0.4	UN	
A.03 同在庫指数(2020=100)@	101.6	101.7	101.1	100.0	99.7	100.1	99.5	99.8	99.9	98.0	98.6	97.8	98.1	96.3	UN	
前月比(%)	-0.5	0.1	-0.6	-1.1	-0.3	0.4	-0.6	0.3	0.1	-1.9	0.6	-0.8	0.3	-1.8	UN	
前年同月比(%)	-0.7	-1.2	-1.3	-2.6	-2.6	-2.3	-2.5	-2.4	-2.3	-3.4	-2.5	-4.2	-3.4	-5.3	UN	
A.04 同在庫率指数(2020=100)@	104.5	107.0	106.8	106.0	106.5	106.8	106.7	104.8	104.7	106.1	106.1	101.2	103.2	102.5	UN	
A.05 製造業稼働率指数(2020=100)@	103.2	101.5	102.4	102.5	103.1	102.2	101.5	102.8	105.5	101.6	102.1	105.1	105.0	103.7	UN	
前月比(%)	1.1	-1.6	0.9	0.1	0.6	-0.9	-0.7	1.3	2.6	-3.7	0.5	2.9	-0.1	-1.2	UN	
A.06 同生産能力指数(2020=100)	96.2	96.3	95.9	95.7	95.9	96.0	95.5	95.7	95.6	95.4	95.2	95.2	95.1	95.1	UN	
前月比(%)	-0.4	0.1	-0.4	-0.2	0.2	0.1	-0.5	0.2	-0.1	-0.2	-0.2	0.0	-0.1	0.0	UN	
前年同月比(%)	-2.2	-1.9	-2.1	-2.3	-1.9	-1.7	-1.8	-1.6	-1.8	-1.5	-1.8	-1.4	-1.1	-1.2	UN	
A.07 食料安定供給(10億円)	-13.5	-3.3	53.9	35.2	-6.4	37.1	-46.6	-2.8	-14.2	-21.5	-55.3	7.0	0.2	-15.5	1.3	
前月比(%)	2.6	43.6	60.1	31.0	22.3	33.5	14.2	19.3	15.4	2.4	2.4	21.0	13.7	-12.2	-52.6	
前年同月比(%)	2.6	43.6	60.1	31.0	22.3	33.5	14.2	19.3	15.4	2.4	2.4	21.0	13.7	-12.2	-52.6	
A.08 企業倒産件数(件数)	768.0	875.0	826.0	835.0	869.0	956.0	751.0	909.0	965.0	796.0	881.0	861.0	833.0	943.0	UN	
前月比(%)	4.6	0.6	8.7	17.8	7.7	3.9	0.7	22.7	4.3	-4.6	3.9	3.7	8.5	7.8	UN	
前年同月比(%)	167.3	97.4	100.5	93.4	98.6	166.5	112.9	98.6	142.3	78.9	290.0	118.9	122.8	130.4	UN	
A.09 企業倒産額(10億円)	22.9	-26.2	6.3	-25.9	-8.7	-78.6	21.8	-24.8	-18.9	-48.2	38.0	-1.4	-26.6	33.9	UN	
前月比(%)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	UN	
A.10 有効求人倍率@	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7	UN	
A.11 失業率(%)@	169.0	173.0	175.0	172.0	173.0	167.0	179.0	181.0	184.0	181.0	185.0	191.0	185.0	186.0	UN	
A.12 失業者数(万人)@	-4.0	4.0	2.0	-3.0	1.0	-6.0	12.0	2.0	3.0	-3.0	4.0	6.0	-6.0	1.0	UN	
前年同月比(%)	-13.00	-6.00	-5.00	-9.00	-4.00	-19.00	7.00	11.00	13.00	8.00	14.00	18.00	16.00	13.00	UN	
A.13 労働力人口(万人)@	6987.0	6983.0	6984.0	7003.0	7003.0	6998.0	6997.0	7014.0	7026.0	7027.0	7029.0	7008.0	7012.0	7002.0	UN	
前月比(%)	-8	-4	1	19	0	-5	-1	17	12	1	2	-21	4	-10	UN	
前年同月比(%)	28	38	42	60	44	39	29	59	61	53	42	13	25	19	UN	
A.14 就業者数(万人)@	6817	6811	6809	6831	6830	6830	6820	6835	6844	6846	6846	6817	6827	6815	UN	
前月比(%)	-4	-6	-2	22	-1	0	-10	15	9	2	0	-29	10	-12	UN	
前年同月比(%)	40	44	46	72	51	55	20	49	52	48	31	-3	11	3	UN	
A.15 雇用者数(万人)@	6173	6165	6168	6182	6183	6195	6177	6186	6198	6210	6208	6197	6197	6175	UN	
前月比(%)	-4	-8	3	14	1	12	-18	9	12	12	-2	-11	0	-22	UN	
前年同月比(%)	64	58	64	78	66	84	34	52	48	60	46	22	24	8	UN	
A.16 製造業(万人)	1017	981	988	996	989	997	1006	999	990	1005	997	990	996	969	UN	
前月比(%)	-10	3	-13	-5	-29	-15	-11	-13	-14	-3	-16	-29	-21	-12	UN	
A.17 平均給与総額(全産業:円)	288615	308981	301662	301344	513907	416535	299753	297525	299753	313435	631962	299753	298480	317254	UN	
前月比(%)	3	2	2	1	3	3	1	2	3	2	2	3	3	3	UN	
A.18 所定外労働時間(全産業)	9.8	10.2	10.2	9.7	9.8	9.0	9.7	10.2	10.0	9.9	9.5	9.7	9.9	9.9	UN	
前年同月比(%)	-3.0	-2.9	-2.9	-1.0	-3.0	-3.0	-3.2	-2.0	-1.9	-2.9	-2.0	0.0	-1.0	-2.9	UN	
B. 国内需要:																
B.01 家計消費(円)	3.8	6.4	4	8.9	5.2	5.1	5.5	5.3	0.3	6.3	-0.3	0.7	-0.4	-1.3	UN	
前月比(%)	-0.5	2.1	-0.1	4.7	1.3	1.4	2.3	1.8	-3.0	2.9	-2.6	-1.0	-1.8	-2.9	UN	
前年同月比(%)	104.8	105.0	105.1	105.3	105.4	105.6	105.9	105.9	105.7	105.9	105.8	105.9	105.9	105.9	UN	
B.02 消費動向指数(2020=100)@	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	-0.2	0.1	-0.1	0.1	0.0	0.0	UN	
前月比(%)	1.0	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.7	1.5	1.3	1.5	1.3	1.3	1.0	0.8	UN	
前年同月比(%)	104.5	104.1	104.7	104.5	105.1	105.4	105.3	105.5	105.2	105.6	105.4	105.9	105.7	105.4	UN	
B.03 消費活動指数(2015=100)@	0.4	-0.3	0.6	-0.2	0.5	0.4	-0.2	0.2	-0.3	0.4	-0.2	0.5	-0.2	-0.2	UN	
前月比(%)	0.3	0.6	0.8	0.7	1.1	0.2	0.3	1.2	1	1.6	1.6	1.7	1.1	1.2	UN	
前年同月比(%)	12179	14065	12946	12767	12960	13349	12706	12582	13049	13356	14821	12952	12170	14306	UN	
B.04 小売販売額(10億円)	-5.9	-4.2	-3.9	-5.3	-5.3	-6.7	-8	-6.9	-5.5	-6.1	-7.9	1.8	-0.1	1.7	UN	
前月比(%)	354579	420880	287105	269494	329119	326323	249328	357461	328349	307467	278068	307838	328534	407564	314816	
前年同月比(%)	18.8	9.6	11	3.1	5.5	-3.7	-8.2	-2.4	-2.8	-7	-0.8	-6.2	-7.3	-3.2	9.7	
B.05 乗用車新規登録台数(台)	65920	87853	53381	46153	55446	59433	59588	60791	65723	60167	63003	62929	62547	61373	UN	
前月比(%)	4.6	33.3	-39.2	-13.5	20.1	7.2	0.3	2	8.1	-8.5	4.7	-0.1	-0.6	-1.9	UN	
前年同月比(%)	1.4	39	-26.4	-32.8	-16	-8.9	-9.8	-8.3	3.1	-7.2	-2	-0.2	-5.1	-30.1	UN	
B.06 新設住宅着工(戸数)@	1295	1955.6	1184	941.9	1190	1323.7	1248.5	1361.1	1542.3	1274.2	1384.8	1261.1	1256.5	1412.1	UN	
B.07 建築工事費(居住:10億円)	13.2	59.9	-20.7	-32.1	-12.7	-2.4	-4.1	-0.5	8.6	-6.2	6.5	3.8	-3	-27.8	UN	
前月比(%)	895	989.4	917.4	915.3	936	906.4	903.2	931.8	986	895.6	1040	982.4	1115.9	UN		
B.08 機械受注(民需:10億円)@	3.2	10.5	-7.3	-0.2	2.3	-3.2	-0.4	3.2	5.8	-9.2	16.1	-5.5	13.6	UN		
前月比(%)	1.6	10.5	4.8	6.4	7	3.5	3.6	8	13.2	-0.8	17.5	13.3	24.7	UN		
前年同月比(%)	930	924.8	923.4	919.7	924.8	933.2	939.7	948.3	964.3	965.4	970.1	967.7	961.3	UN		
B.09 民間建築(非居住用:10億円)	1.2	2.5	3.4	2.7	1.4	0.8	0	-1.2	-0.8	-0.6	1.1	2.7	3.4	UN		
前年同月比(%)	2757	4525.7	2609.2	2585.3	3330.4	2722.5	2757.7	3738	2862.3	2791	3621.3	2863.7	2935.1	UN		
B.10 情報サービス業売上高(10億円)	9.4	6.8	10.5	11.7	10.1	9.4	14.2	10.1	13.2	9.4	6.9	9.1	6.5	UN		
前年同月比(%)	108.4	106.5	104.5	109.7	110.3	104.7	106.5	107.7	108.2	108.6	107.7	111.9	109.6	106.3	UN	
B.11 資本財出荷指数(2020=100)@	3.3	-1.8	-1.9	5	0.5	-5.1	1.7	1.1	0.5	0.4	-0.8	3.9	-2.1	-3	UN	
前月比(%)	8.7	-3.1	-4.5	-3.2	6.3	-0.4	1.9	4.5	0.1	2.7	-1.3	6.7	1.1	-0.2	UN	
前年同月比(%)	2230.1	2306.3	1568.6	1547.3	1708.8	1798.6	1904.7	2026.3	2160.4	2278.2	2425.7	2394.2	2365.4	UN		

出所: 各種公的機関発表資料より筆者作成

付表 主要月次統計2

[月次統計]	25/Q1			25/Q2			25/Q3			25/Q4			26/Q1		
	25/2M	25/3M	25/4M	25/5M	25/6M	25/7M	25/8M	25/9M	25/10M	25/11M	25/12M	26/1M	26/2M	26/3M	26/4M
B. 国内需要:															
B.12 公共工事(出来高:10億円)	2230.1	2306.3	1568.6	1547.3	1706.8	1798.6	1904.7	2026.3	2160.4	2278.2	2425.7	2394.2	2365.4	UN	UN
前年同月比(%)	3.7	9.5	3.5	2.7	4.7	3.1	2.8	0.0	0.3	1.0	4.5	4.5	6.1	UN	UN
B.13 公共工事請負金額(10億円)	691.4	1722.0	2725.4	1654.1	1905.5	1676.5	1099.6	1434.8	1332.7	745.2	779.9	618.0	854.7	2023.1	2854.1
前年同月比(%)	-22.5	6.0	12.0	4.0	10.8	9.5	2.7	12.5	18.1	-6.8	14.9	9.1	23.6	17.5	4.7
B.14 3次産業活動指数(2019=20=100)@	104.4	103.6	104.5	104.7	104.8	104.8	105.1	105.1	105.8	105.3	104.6	106.7	105.9	105.7	UN
前月比(%)	0.5	-0.8	0.9	0.2	0.1	0.0	0.3	0.0	0.7	-0.5	-0.7	2.0	-0.7	-0.2	UN
C. 景気動向指数:															
C.01 先行指数(2020=100)	107.2	107.2	104.5	104.5	105.4	106.2	107.0	108.1	109.2	109.5	110.4	112.0	113.2	114.5	UN
C.02 一致指数(2020=100)	116.5	115.8	115.7	115.8	115.7	114.9	113.9	115.0	115.6	114.8	114.4	117.9	116.2	116.5	UN
C.03 遅行指数(2020=100)	111.9	112.0	113.3	114.3	113.9	113.9	112.9	113.1	112.9	113.3	112.0	112.6	112.9	113.4	UN
C.04 消費者態度指数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前年同月差	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D. 金融市場:															
D.01 円対米ドル(10億円)@	65970.0	65281.4	647538	647102	643852	640188	636126	626547	617681	612069	602941	598209	598989	577319	574575
前月比(%)	0.0	-1.0	-0.8	-0.1	-0.5	-0.6	-0.6	-1.5	-1.4	-0.9	-1.5	-0.8	-1.4	-2.1	-0.5
前年同月比(%)	-1.8	-3.1	-4.8	-3.4	-3.5	-3.9	-4.2	-6.2	-7.8	-8.7	-9.7	-9.3	-10.6	-11.6	-11.3
D.02 コーポレート	0.478	0.477	0.477	0.477	0.477	0.478	0.477	0.477	0.477	0.478	0.557	0.728	0.728	0.728	0.727
D.03 新発10年国債利回り(%)	1.351	1.515	1.314	1.441	1.444	1.521	1.559	1.609	1.66	1.733	1.977	2.202	2.187	2.225	2.413
D.04 イット・カーブ(%)	0.873	1.039	0.837	0.964	0.967	1.043	1.082	1.132	1.183	1.255	1.42	1.474	1.459	1.498	1.685
D.05 日経平均(225種:円)	38735.30	37311.80	34343.00	37490.50	38458.30	40173.00	42299.00	44218.50	48521.10	50111.10	50162.40	53077.30	56480.90	53964.90	57245.80
前月比(%)	2.5	-6.4	-11.4	-2.8	-1.0	0.2	14.7	18.5	24.9	29.7	27.6	35.1	45.8	44.6	66.7
E. 物価:															
E.01 企業物価(国内総合:2020=100)	125.8	126.2	126.6	126.5	126.4	126.7	126.4	127.0	127.6	128.0	128.1	128.5	128.5	129.8	132.8
前月比(%)	0.2	0.3	0.3	-0.1	-0.1	0.2	-0.2	0.5	0.5	0.3	0.1	0.3	0.0	1.0	2.3
前年同月比(%)	4.3	4.3	3.9	3.1	2.8	2.5	2.6	2.8	2.7	2.7	2.4	2.4	2.1	2.9	4.9
E.02 企業物価(資本財:2020=100)	112.4	112.2	112.7	113.0	113.8	113.8	114.2	114.1	114.5	115.0	115.5	115.5	115.7	115.9	UN
前月比(%)	0.7	-0.2	0.4	0.3	0.7	0.0	0.4	-0.1	0.4	0.4	0.4	0.0	0.2	0.2	UN
前年同月比(%)	3.3	2.9	2.5	3.0	3.5	2.8	3.0	3.0	2.5	3.2	3.3	3.5	2.9	3.3	UN
E.03 企業物価(サービス価格:2020=100)	109.2	110.1	111.0	111.0	110.8	111.1	111.3	111.4	112.2	112.5	112.5	112.0	112.1	113.5	UN
前月比(%)	0.1	0.8	0.8	0.0	-0.2	0.3	0.2	0.1	0.7	0.3	0.0	-0.4	0.1	1.2	UN
前年同月比(%)	3.3	3.4	3.1	3.1	2.8	2.7	2.8	3.1	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7	3.1	UN
E.04 交易条件(2020=100)	85.9	86.3	87.3	87.4	88.9	88.6	88.6	88.8	89.2	89.4	89.8	90.6	91.4	89.7	88.3
前月比(ポイント)	0.5	0.5	0.9	0.1	1.5	-0.2	0.0	0.2	0.3	0.2	0.4	0.8	0.8	-1.7	-1.4
前年同月比(ポイント)	2.3	1.9	2.7	3.5	4.6	4.7	3.8	3.1	3.7	3.7	4.2	5.2	5.5	3.4	1.1
E.05 住宅工事費(2015=100)	128.9	127.5	129.5	129.4	130.3	134.2	130.1	130.7	130.6	131.2	132.3	132.0	131.7	UN	UN
前月比(%)	0.7	-1.1	1.6	-0.1	0.7	3.0	-3.1	0.5	-0.1	0.5	0.8	-0.2	-0.2	UN	UN
前年同月比(%)	3.9	1.6	2.7	0.5	2.2	4.4	1.7	2.3	2.4	1.9	2.5	3.1	2.2	UN	UN
E.06 公共工事費(2015=100)	130.3	129.2	130.8	130.5	131.5	135.5	131.3	131.9	131.7	132.2	133.3	133.0	132.6	UN	UN
前月比(%)	0.8	-0.8	1.2	-0.2	0.8	3.0	-3.1	0.5	-0.2	0.4	0.8	-0.2	-0.3	UN	UN
前年同月比(%)	5.4	3.0	3.6	1.0	2.5	4.6	2.0	2.7	2.7	1.8	2.4	2.9	1.8	UN	UN
E.07 輸出物価(円対米ドル:2020=100)	139.8	138.3	135.7	134.5	134.7	137.1	137.6	138.3	142.2	144.8	147.2	151.3	152.8	155.2	161.4
前月比(%)	-1.3	-1.1	-1.9	-0.9	0.1	1.8	0.4	0.5	2.8	1.8	1.7	2.8	1.0	1.6	4.0
前年同月比(%)	1.5	-0.3	-4.3	-6.6	-7.2	-5.6	0.0	2.4	2.7	2.5	5.1	6.8	9.3	12.2	18.9
E.08 輸出物価(ドル対円:2020=100)	112.8	112.7	112.7	111.5	111.4	112.1	112.2	112.5	114.0	114.2	115.3	117.7	119.4	119.6	123.5
前月比(%)	0.4	-0.1	0.0	-1.1	-0.1	0.6	0.1	0.3	1.3	0.2	1.0	2.1	1.4	0.2	3.3
前年同月比(%)	1.0	0.3	-0.4	-1.6	-1.9	-1.1	-0.7	0.2	1.6	1.3	2.9	4.8	5.9	6.1	9.6
E.09 輸入物価(円対米ドル:2020=100)	162.8	160.2	155.5	153.9	151.6	154.7	155.3	155.7	159.5	162.0	163.9	167.0	167.2	173.0	182.7
前月比(%)	-1.9	-1.6	-2.9	-1.0	-1.5	2.0	0.4	0.3	2.4	1.6	1.2	1.9	0.1	3.5	5.6
前年同月比(%)	-1.2	-2.5	-7.3	-10.3	-12.0	-10.6	-4.3	-1.2	-1.6	-1.6	0.2	0.6	2.7	8.0	17.5
E.10 輸入物価(ドル対円:2020=100)	125.2	124.9	124.1	122.6	121.0	121.8	121.8	121.8	122.6	122.2	123.1	124.7	125.7	127.7	133.9
前月比(%)	0.3	-0.2	-0.6	-1.2	-1.3	0.7	0.0	0.0	0.7	-0.3	0.7	1.3	0.8	1.6	4.9
前年同月比(%)	-2.1	-2.0	-2.8	-4.7	-5.7	-5.3	-4.9	-3.6	-2.6	-2.6	-1.3	-0.1	0.4	2.2	7.9
E.11 原油価格(円/KI)	78.205	74.785	73.527	68.242	63.709	65.385	67.061	67.825	69.953	68.696	68.237	65.935	64.387	67.696	UN
前月比(%)	3.2	-4.4	-1.7	-7.2	-6.6	2.6	2.6	1.1	3.1	-1.8	-0.7	-3.4	-2.3	5.1	UN
前年同月比(%)	0.3	-4.2	-10.2	-21.5	-26.5	-26.1	-18.9	-9.8	-5.0	-8.6	-7.1	-13.0	-17.7	-9.5	UN
E.12 消費者物価(総合:2020=100)	110.8	111.1	111.5	111.8	111.7	111.9	112.1	112.0	112.8	113.2	113.0	112.9	112.2	112.7	UN
前月比(%)	-0.4	0.3	0.4	0.3	-0.1	0.2	0.2	-0.1	0.7	0.4	-0.2	-0.1	-0.6	0.4	UN
前年同月比(%)	3.6	3.6	3.5	3.4	3.2	3.0	2.7	2.8	3.0	2.9	2.1	1.5	1.3	1.4	UN
E.13 消費者物価(コア:2020=100)	109.7	110.2	110.9	111.4	111.4	111.6	111.6	111.4	112.1	112.5	112.2	112.0	111.4	112.1	UN
前月比(%)	-0.1	0.5	0.6	0.5	0.0	0.2	0.0	-0.2	0.6	0.4	-0.3	-0.2	-0.5	0.6	UN
前年同月比(%)	3.0	3.2	3.5	3.6	3.3	3.0	2.7	3.0	3.0	3.0	2.4	2.0	1.5	1.7	UN
E.14 消費者物価(東京総合:2020=100)	109.7	110.2	110.7	111.1	110.8	111.0	111.2	110.7	111.8	112.2	112.0	111.9	111.4	111.7	112.4
前月比(%)	-0.5	0.5	0.5	0.4	-0.3	0.2	0.2	-0.4	1.0	0.4	-0.2	-0.1	-0.4	0.3	0.6
前年同月比(%)	2.8	2.9	3.5	3.4	3.1	3.0	2.6	2.4	2.8	2.7	2.0	1.5	1.5	1.4	1.5
E.15 消費者物価(東京コア:2020=100)	108.5	109.1	110.0	110.5	110.3	110.5	110.6	110.0	111.0	111.4	111.1	110.9	110.5	111.0	111.7
前月比(%)	-0.2	0.6	0.8	0.5	-0.2	0.2	0.1	-0.5	0.9	0.4	-0.3	-0.2	-0.4	0.5	0.6
前年同月比(%)	2.2	2.4	3.4	3.6	3.1	2.9	2.5	2.5	2.9	2.9	2.3	2.0	1.8	1.7	1.5
E.16 日経商品指数(17種:1970=100)	237.4	240.7	227.3	228.2	232.5	233.2	233.7	234.1	242.6	242.4	243.6	254.2	256.9	261.7	271.1
前月比(%)	-0.5	1.4	-5.6	0.4	1.9	0.3	0.2	0.2	3.6	-0.1	0.5	4.4	1.1	1.9	3.6
前年同月比(%)	5.8	4.2	-5.9	-7.2	-4.7	0.1	-0.3	-1.6	1.3	3.2	2.0	6.5	8.2	8.7	19.3

出所:各種公的機関発表資料より筆者作成

付表 主要月次統計3

[月次統計]	25/Q1	25/Q2	25/Q3	25/Q4	25/Q1	25/Q2	25/Q3	25/Q4	25/Q1	25/Q2	25/Q3	25/Q4	26/Q1	26/Q2	26/Q3	26/Q4
F. 国際収支：																
F.01 貿易・サービス収支(10億円)	524.2	571.6	-726.7	-366.2	306.7	-958.8	-152.9	-7.5	-278.5	597.3	-168.3	-1315.7	-16.8	572.8	UN	
F.02 貿易収支(10億円)	809.9	611.3	-0.7	-497.1	467.3	-187.7	113.8	246.6	10.4	595.0	117.7	-800.4	267.6	830.5	UN	
前年同月比(%)	453.4	16.9	99.9	50.7	-28.8	51.6	141.7	189.6	114.7	202.7	0.6	79.0	-67.0	35.9	UN	
F.03 財輸出(10億円)	9112.7	9690.7	8871.7	8159.1	9008.1	9069.5	8439.3	9513.8	9696.9	9397.4	9950.7	9044.5	9372.2	10822.0	UN	
前年同月比(%)	10.4	2.1	3.6	-1.6	-3.2	-5.7	-1.3	7.6	1.7	3.7	3.4	18.4	2.8	11.7	UN	
F.04 財輸入(10億円)	8302.9	9079.3	8872.5	8656.1	8540.8	9257.2	8325.5	9267.2	9686.5	8802.4	9833.0	9644.8	9104.6	9991.5	UN	
前年同月比(%)	-2.2	1.2	-2.6	-6.9	-1.3	-7.5	-5.7	1.7	0.9	-0.7	3.4	-8.1	9.7	10.0	UN	
F.05 サービス収支(10億円)	-285.7	-39.8	-725.9	130.9	-160.6	-771.1	-266.7	-254.1	-288.9	2.2	-286.0	-715.3	-284.5	-257.8	UN	
F.06 運輸	-61.4	-58.3	-49.0	-55.8	-33.8	-61.5	-65.0	-64.1	-62.0	-51.3	-68.8	-90.3	-79.2	-41.9	UN	
F.07 旅行	517.9	560.2	730.9	635.6	552.0	464.5	362.4	399.2	663.8	559.1	564.9	590.1	560.6	491.3	UN	
F.08 その他	-742.2	-541.7	-1407.9	-448.9	-678.9	-1174.0	-564.1	-589.2	-890.7	-505.6	-782.1	-1215.1	-765.9	-707.2	UN	
F.09 第一次所得収支(10億円)	3798.6	3832.6	3649.8	4180.2	1444.9	4053.9	4222.7	4943.7	3458.0	3368.4	1352.4	2736.0	4240.3	4630.7	UN	
F.10 第二次所得収支(10億円)	-384.4	-778.9	-553.1	-493.5	-469.8	-508.9	-441.7	-491.5	-436.0	-289.3	-258.7	-489.3	-290.8	-522.0	UN	
F.11 経常収支(10億円)	3938.4	3625.3	2370.0	3320.5	1281.8	2586.3	3628.1	4444.7	2743.5	3676.4	925.4	931.0	3933.7	4681.5	UN	
前年同月比(%)	43.2	5.3	13.1	13.8	-33.1	-27.6	-5.7	160.3	16.6	11.2	-12.8	404.9	-0.1	29.1	UN	
F.12 資本移動等収支(10億円)	-42.1	-71.1	-25.0	-102.0	-58.3	-16.2	-16.1	-21.5	-16.7	-27.2	-14.1	-11.0	-29.6	-69.6	UN	
F.13 直接投資(10億円)	1547.4	2497.3	1964.5	1741.4	3620.4	963.0	2553.8	2077.2	4135.9	2294.2	1026.3	1448.9	1457.2	1209.4	UN	
F.14 証券投資(10億円)	5194.1	4981.3	-11161.0	1868.8	-3166.0	-3039.2	-1676.3	9095.3	-15927.0	-442.3	1984.9	-9572.1	-11929.8	8920.7	UN	
F.15 その他投資(10億円)	-5308.2	-3927.3	12226.0	-448.9	63.1	2827.9	-550.1	-5277.5	11581.0	165.9	-4039.0	6620.1	13347.4	-6619.5	UN	
F.16 金融収支	2011.1	4323.3	2662.7	3958.9	1211.3	1593.8	1524.2	6737.2	1063.0	3803.1	615.8	-517.1	4242.3	4307.9	UN	
F.17 為替レート(月平均:円/ドル)	152.0	149.2	144.4	144.8	144.5	146.7	147.7	147.9	151.3	155.1	155.9	156.7	155.1	158.6	159.3	
前年同月比(%)	-2.9	-1.8	-3.2	0.3	-0.2	1.5	0.7	0.2	2.3	2.5	0.5	0.5	-1.0	2.3	0.4	
G. 通関統計：																
G.01 貿易収支(10億円)	559.2	529.8	-149.5	-662.5	122.3	-156.3	-294.1	-277.7	-242.9	306.0	94.7	-1165.8	36.6	643.0	UN	
前年同月比(%)	230.0	54.0	71.0	46.1	-43.2	75.6	60.6	16.7	51.4	353.3	-21.2	57.7	-93.5	21.4	UN	
G.02 対米国(10億円)	916.8	845.4	763.1	445.7	666.4	568.4	314.7	512.8	527.5	737.9	688.8	365.1	680.8	725.7	UN	
前年同月比(%)	29.6	14.4	12.7	-5.9	-23.0	-26.0	-51.9	-38.8	-33.9	11.0	-31.9	-23.5	-25.7	-14.2	UN	
G.03 対アジア(10億円)	885.6	694.8	481.7	314.1	445.8	472.5	535.0	238.1	208.9	427.8	634.6	-109.8	244.1	908.0	UN	
前年同月比(%)	333.4	-21.3	66.7	1189.6	-20.0	261.0	23.3	162.1	773.9	18.5	14.0	90.8	-72.4	30.7	UN	
G.04 対EU(10億円)	-232.9	-116.2	-163.4	-310.0	-306.9	-279.6	-130.5	-235.9	-97.1	-128.2	-257.1	-202.6	-152.8	-141.0	UN	
前年同月比(%)	-704.2	-21.8	-29.6	-14.0	-63.0	-50.4	66.7	-44.6	64.4	39.6	-319.8	50.3	34.4	-21.3	UN	
G.05 輸出(10億円)	9189.8	9851.6	9149.9	8129.5	9162.3	9344.8	8420.1	9404.9	9766.2	9708.9	10407.7	9185.1	9559.6	10981.4	UN	
前年同月比(%)	11.4	4.0	1.9	-1.8	-0.5	-2.8	-0.1	4.1	3.6	6.1	5.1	16.8	4.0	11.5	UN	
G.06 対米国(10億円)	1904.7	1876.1	1764.3	1510.0	1706.9	1714.2	1380.4	1596.9	1753.9	1816.9	1810.7	1461.3	1752.9	1940.4	UN	
前年同月比(%)	10.5	3.1	-2.1	-11.3	-11.4	-10.8	-14.1	-13.7	-3.1	8.8	-11.1	-5.1	-8.0	3.4	UN	
G.07 対アジア(10億円)	4890.5	5289.4	4995.4	4477.6	4932.3	5075.2	4739.4	5169.3	5253.4	5233.3	5702.8	5207.7	5021.0	6127.9	UN	
前年同月比(%)	15.7	5.6	6.0	0.4	1.7	-0.2	1.7	9.2	4.2	4.4	10.2	25.7	2.7	15.9	UN	
G.08 対中国(10億円)	1538.0	1663.8	1578.1	1441.7	1551.4	1596.7	1500.9	1593.2	1710.1	1619.9	1810.0	1549.5	1369.5	1958.3	UN	
前年同月比(%)	14.0	-4.8	-0.6	-8.8	-4.7	-3.5	-0.5	5.8	2.1	-2.5	5.5	32.0	-11.0	17.7	UN	
G.09 対EU(10億円)	804.3	892.9	836.7	750.4	824.0	866.8	780.5	891.5	907.1	901.3	984.0	847.4	916.9	1036.5	UN	
前年同月比(%)	-7.7	-1.1	-5.2	4.9	3.5	-3.4	5.5	5.0	9.2	19.5	2.5	29.6	14.0	16.1	UN	
G.10 一般機械(10億円)	1678.0	1903.0	1625.9	1515.8	1691.5	1687.6	1463.2	1647.0	1690.0	1652.3	1870.9	1464.5	1637.3	2017.3	UN	
前年同月比(%)	11.6	3.7	-0.5	3.1	1.7	1.2	-1.3	3.5	2.3	4.9	-0.2	14.3	-2.4	6.0	UN	
G.11 電気機器(10億円)	1474.3	1588.0	1537.9	1327.9	1466.0	1640.5	1518.1	1649.0	1673.2	1606.2	1832.3	1561.7	1626.0	1930.2	UN	
前年同月比(%)	9.7	1.4	6.1	-3.5	-3.2	0.4	0.1	5.5	5.8	7.4	11.3	27.3	10.3	21.5	UN	
G.12 輸送用機器(10億円)	2133.0	2236.9	2006.1	1673.2	2083.9	2058.9	1690.8	2061.7	2193.3	2037.3	2132.6	1844.0	2161.1	2312.3	UN	
前年同月比(%)	11.7	4.2	-5.9	-8.2	-3.6	-11.5	-5.9	0.1	1.1	-2.5	-5.0	0.7	1.3	3.4	UN	
G.13 輸数量(2020=100)	101.7	111.0	104.4	95.7	106.5	106.6	92.2	103.9	108.1	104.0	111.5	94.0	100.8	115.2	UN	
前年同月比(%)	2.9	-0.9	-0.5	1.5	2.5	0.7	-4.0	-1.1	-1.4	0.3	-1.3	8.8	-0.9	3.8	UN	
G.14 輸入(10億円)	8630.6	9321.7	9299.4	8792.0	9040.1	9501.1	8714.2	9682.6	10009.1	9402.9	10312.9	10350.9	9523.0	10338.4	UN	
前年同月比(%)	-0.6	2.1	-2.1	-7.5	0.5	-7.3	-5.1	3.3	0.8	1.4	5.4	-2.6	10.3	10.9	UN	
G.15 対米国(10億円)	987.9	1030.7	1001.2	1064.4	1040.6	1145.9	1065.7	1084.1	1226.5	1079.0	1121.9	1096.3	1072.1	1214.7	UN	
前年同月比(%)	-2.8	-4.7	-11.0	-13.4	-2.0	-0.7	12.0	7.0	21.1	7.3	9.3	3.2	8.5	17.9	UN	
G.16 対アジア(10億円)	4004.9	4594.6	4513.7	4163.4	4486.5	4602.7	4204.4	4931.3	5044.6	4805.5	5068.2	5317.5	4776.9	5219.8	UN	
前年同月比(%)	-0.5	11.3	2.0	-6.1	4.5	-7.1	-0.5	6.2	0.6	3.3	9.7	-0.3	19.3	13.6	UN	
G.17 対中国(10億円)	1726.0	2116.1	2257.9	2067.0	2068.0	2206.3	1927.1	2368.6	2477.6	2401.1	2464.9	2634.5	2338.4	2303.0	UN	
前年同月比(%)	-3.5	15.9	6.7	-2.2	5.3	-3.9	2.1	9.8	0.8	2.4	14.7	0.6	35.5	8.8	UN	
G.18 対EU(10億円)	1037.2	1009.0	1000.1	1060.4	1131.0	1146.5	910.9	1127.4	1004.2	1029.4	1241.1	1049.9	1069.6	1177.5	UN	
前年同月比(%)	15.2	1.1	-0.9	7.4	14.9	5.9	-19.5	11.3	-9.0	6.6	21.6	-1.1	3.1	16.7	UN	
G.19 原料品(10億円)	529.2	640.9	632.7	613.0	712.9	626.4	666.0	682.1	647.2	572.2	626.3	742.9	639.8	741.3	UN	
前年同月比(%)	-12.2	-2.6	-5.9	-17.7	1.6	-14.6	5.2	-2.4	-0.7	-5.3	-7.0	7.2	20.9	15.7	UN	
G.20 鉱物性燃料(10億円)	1967.5	1915.7	1920.8	1630.9	1480.6	1746.0	1780.5	1682.8	1843.0	1651.7	2105.3	2081.6	1782.4	1852.4	UN	
前年同月比(%)	-11.2	-12.6	-13.1	-20.6	-19.0	-20.7	-19.4	-14.4	-7.5	-13.2	-12.4	-14.0	-9.4	-3.3	UN	
G.21 製造業品(10億円)	5407.8	5972.7	5834.9	5657.1	5972.3	6229.5	5475.2	6469.0	6606.7	6362.9	6651.3	6667.2	6317.0	6862.5	UN	
前年同月比(%)	4.5	8.3	2.1	-2.2	6.3	-2.5	-1.2	9.0	2.8	7.2	13.6	-0.2	16.8	14.9	UN	
G.22 輸入数量(2020=100)	86.5	98.8	100.8	96.7	100.6	105.3	94.7	104.6	106.7	98.9	103.6	106.1	97.0	101.2	UN	
前年同月比(%)	-4.2	4.9	2.9	1.7	13.2	3.9	-0.1	5.7	1.3	3.7	2.8	-0.6	12.1	2.4	UN	

注)①印は季節調整済みデータ。UNは未発表データ

出所：各種公的機関発表資料より筆者作成